

液晶プロジェクター

品番 LP-XF60A/LP-EF60A

お買い上げいただき、ありがとうございます。

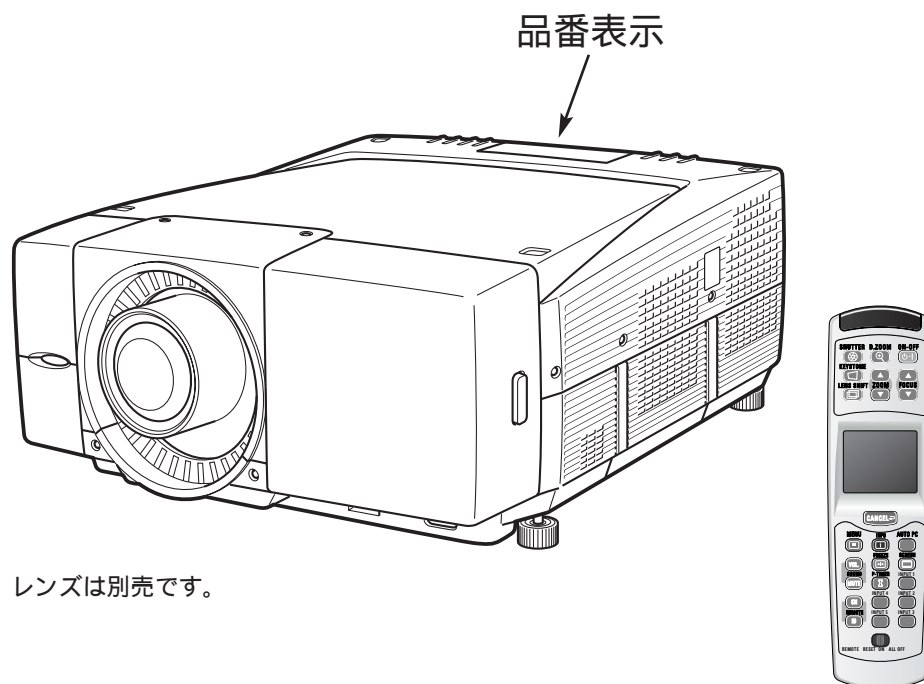
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は後面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コンピュータ対応液晶プロジェクター LP-XF60A/LP-EF60Aの特長

LP-XF60A

1024 x 768ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応。

SXGA、UXGAにも圧縮対応。

LP-EF60A

1400 x 1050ドットの高解像度液晶パネルの採用により、SXGAコンピュータにリアル対応。

UXGAにも圧縮対応。

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にするワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載

デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI-D) の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に、またプログレッシブ スキャン の採用により、ビデオ映像やHDTV信号もより高画質に投射できます。

HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投射できます。

マルチ プラットフォーム

豊富な入出力端子およびカードスロット式接続端子の採用により、ハードおよびソフト環境の異なる各種コンピュータおよびビデオ機器に幅広く対応できるマルチプラットフォーム設計になっております。

カード スロット式接続端子

入れ替え可能な2カ所のカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

天吊り、据置、リア投射など、さまざまな設置方法に対応。ボタンおよびコントロールパッド操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面の位置決めを容易にする電動レンズシフト機能。

コンピュータの種類別の判別と最適設定を自動で行なうマルチスキャンシステムと自動PC調整機能。

画面を一時的に静止させる FREEZE・一時的に投射光を遮断するシャッター機能。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。

DVD プレーヤーや HDTV などからのコンポーネント映像出力にも対応。

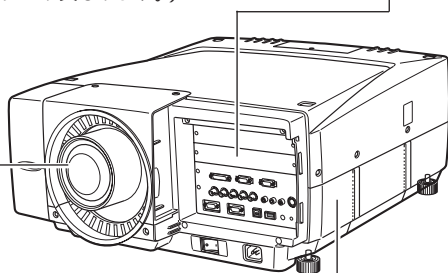
点灯ランプを自動的に切り替える2ランプシステム。

ネットワーク ボード (別売) に対応

ネットワークボードを装着することにより、プロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細画像で XGAコンピュータ画像をリアル投射 (LP-XF60A)
- 約441万画素の高精細画像で SXGAコンピュータ画像をリアル投射 (LP-EF60A)
- 300W高輝度ランプを2灯使用し高輝度化を実現
- 30~500インチの大画面 (レンズにより異なります。)



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下左右電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする調整脚を装備

充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- 3種の入力端子 (RGBデジタル (DVI-D端子) / RGBアナログ (ミニ D-sub 15 端子)、コンポーネント映像 / RGBアナログ共用 (BNC端子 x 5) / コンポジット映像、コンポーネント映像 / S映像 / コンポジット映像 (ピンジャック端子 x 3) を標準装備
- 2カ所の拡張用の空きカードスロット入力端子
- ワイヤードリモコン端子、シリアル入出力ポート、USB端子も装備



ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターの遠隔操作が可能
- プロジェクターとリモコンを別売のリモコンケーブルでつなげば、ワイヤードリモコンに変身

目次

安全上のご注意	4
---------	---

はじめに	12
------	----

付属品を確認してください..... 12

各部の名称	13
-------	----

本体各部のなまえ..... 13
本体インジケータ部分..... 14
本体操作パネルのボタン..... 15
機器をつなぐ端子..... 16
リモコンのボタン..... 18

リモコンの準備	20
---------	----

リモコン送信機について..... 20
リモコンの周波数帯(CH)及びリモコンコード(ID)の設定... 20
電池の入れかた..... 21

設置	22
----	----

設置について..... 22
レンズの取り付け..... 22
設置位置..... 22
レンズシフト機能で画面位置を合わせる..... 23
投映画面の傾きを調整する..... 23
電源コードを接続する..... 24
前面接続端子..... 25
カードスロット式接続端子..... 25

接続	26
----	----

デジタル及びアナログRGB出力コンピュータ..... 26
ビデオ機器 (デジタル及びコンポジット/S映像信号).... 27
ビデオ機器 (コンポーネント映像及びRGB Scart 信号) 28

基本操作	29
------	----

ワイヤレスリモコンで操作..... 29
ワイヤードリモコンで操作..... 29
プロジェクター本体で操作..... 29
USBマウスで操作..... 29
基本操作とこれらの操作ボタン..... 30
プロジェクターの電源を入れる..... 31
プロジェクターの電源を切る..... 32
レンズシフトで画面位置を合わせる..... 33
ズームとフォーカスを合わせる..... 33
シャッターの操作..... 33
入力信号の選択..... 34
自動PC調整..... 34
インフォメーション..... 34
キーストーン調整 (台形ひずみ補正)..... 35
画面サイズの選択..... 35

画面を一時的に静止させる (FREEZE)..... 35
プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)..... 35
デジタルズーム +/-..... 36

メニューの操作	37
---------	----

オンスクリーンメニューの操作のしかた..... 37
メニューアイコンとそれらの機能..... 39

入力信号の選択	40
---------	----

システムの選択	42
---------	----

コンピュータ調整	44
----------	----

イメージ調整	47
--------	----

イメージ選択..... 47
イメージ調整..... 48

スクリーン設定	51
---------	----

設定	53
----	----

スペシャル	61
-------	----

インフォメーション	63
-----------	----

保守とお手入れ	64
---------	----

WARNING TEMP. インジケータ (内部温度管理)..... 64
エアフィルターの交換..... 65
光源ランプの交換..... 66
お手入れについて..... 68
インジケータ表示とプロジェクターの状態..... 69
故障かなと思ったら..... 72

付録	74
----	----

コンピュータシステムモード一覧..... 74
仕様..... 76
別売品..... 77
メニュー内容一覧..... 78
寸法..... 83
端子の仕様..... 84
暗証番号がわからなくなったとき..... 85

保証とアフターサービス	86
-------------	----

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に具体的な注意内容が描かれています。

（左の絵表示は感電注意を意味します。）



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。

（左の絵表示は分解禁止を意味します。）



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

警告

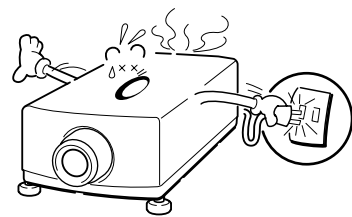
万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



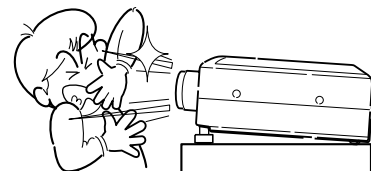
電源プラグを
コンセントから抜け



使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



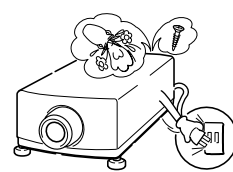
万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

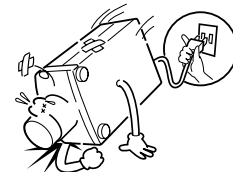
万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



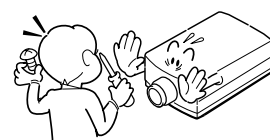
本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

警告

風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

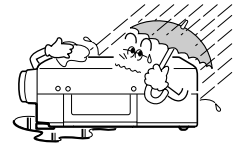


風呂、シャワー室での使用禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



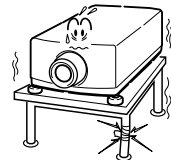
水ぬれ禁止



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止



電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

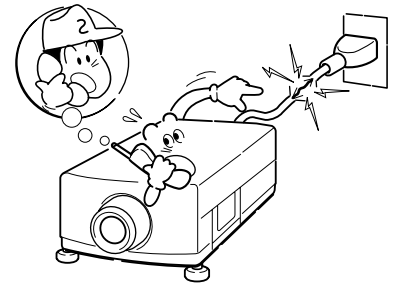
電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。



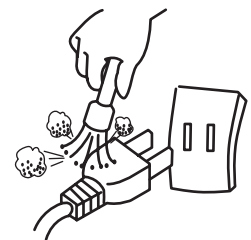
禁止



電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くは特にご注意を）



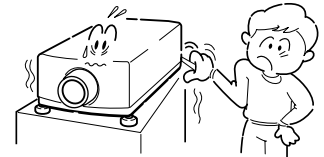
電源プラグを抜いて清掃



ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



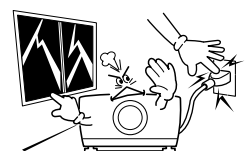
禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

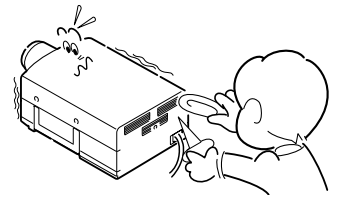


警告

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアース端子を接地してください。(詳しくは、24ページをご覧ください。)



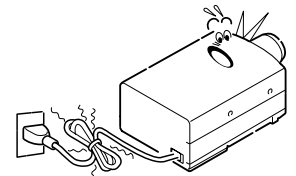
アース線を接続せよ

注意

電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



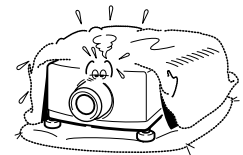
禁止



内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
設置のときは、壁などをファンの排気口から1メートル以上空けてください。



禁止



次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

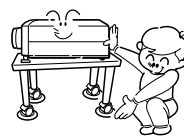
また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

⚠ 注意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



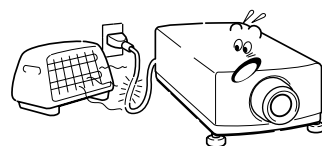
禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



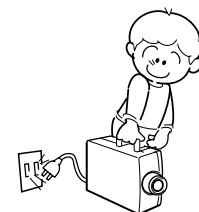
ぬれ手禁止



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



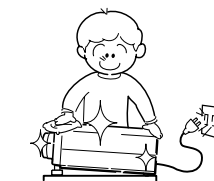
電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



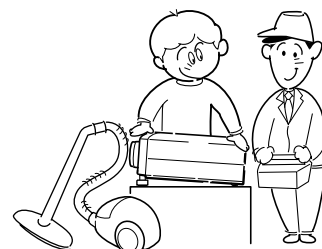
電源プラグを
コンセントから抜け



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用などは販売店にご相談ください。掃除は梅雨の前が効果的です。



注意



安全上のご注意

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。別売レンズ取り付け後は、持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズカバーをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。

輸送の時はレンズを取り外してください

プロジェクターを輸送するときは、必ずレンズを取り外し、プロジェクターのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付けて輸送してください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクターを破損する原因となります。取り付け、取り外しの詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順」をご覧ください。

換気と設置環境について

プロジェクターには内部を冷却するための換気口が設けられています。設置の時、以下の事をお守りください。適切な換気が行われないと事故や火災の原因となります。

吸気口

吸気口付近に物を置いたり、吸気口をふさがないでください。

排気口

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所につきのものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で内部の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・観葉植物や、ペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近に視聴席を設けないでください。

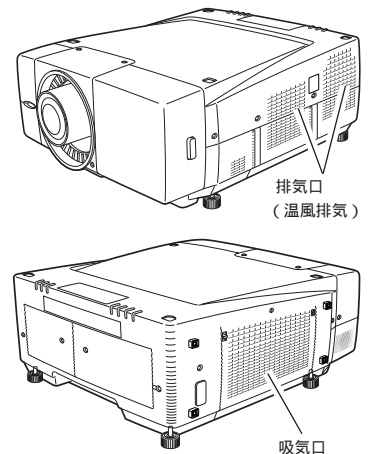
環境温度範囲

プロジェクターは以下の温度環境で動作する様設計されております。

使用温度範囲； 5 ～ 35 保管温度範囲； -10 ～ 60

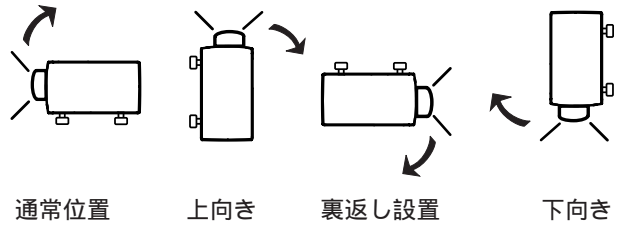
結露にご注意

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露してぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。



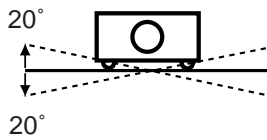
設置方向について

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。
指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。
プロジェクターは上方向、下方向、斜めと、360度の範囲で投射可能です。以下右図の指定の範囲内でご使用ください。



使用禁止方向

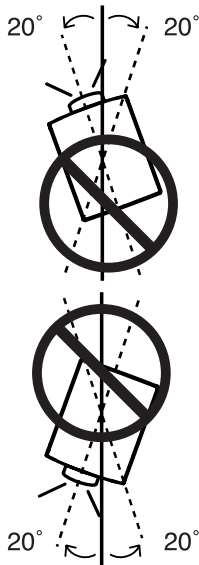
以下の方向では使用しないでください。



プロジェクターを水平方向に20度以上傾けて使用しないでください。



横に立てて使用しないでください。



プロジェクターの水平軸を20度以上傾けて上方向に投射しないでください。

プロジェクターの水平軸を20度以上傾けて下方向に投射しないでください。

ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

プロジェクター取り扱い上のご注意

プロジェクターは二人以上で運んでください。

プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因となります。

プロジェクターを立てて置く時は、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、プロジェクター底面の換気口部を破損する原因となります。

プロジェクターを動かす時は、プロジェクターを以下の状態にしてから動かしてください。



- ・プロジェクターの接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。
- ・レンズにレンズキャップを取り付けます。
- ・調整脚をおさめます。

プロジェクターの持ち運び



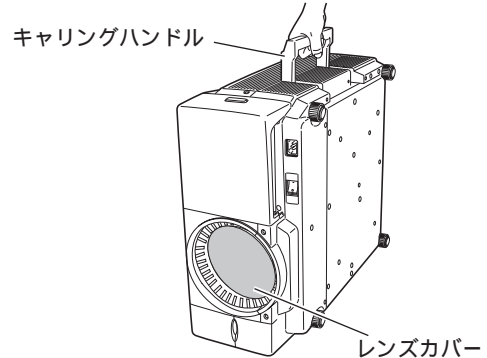
プロジェクターを持ち運ぶときは、プロジェクターを以下の状態にして運んでください。

- ・レンズをプロジェクターから取り外します。レンズを取り付けたままプロジェクターを持ち運ぶと、レンズの重みでプロジェクターやレンズを破損する原因となります。
- ・レンズ取り付け部に、ご購入時ついていたカバープレートを取り付け、レンズ穴をふさぎます。カバープレートを取り付けないままプロジェクターを運ぶと、レンズ部からホコリや異物がプロジェクター内に混入したり、また、もの等が当たってプロジェクター内部を破損する原因となります。

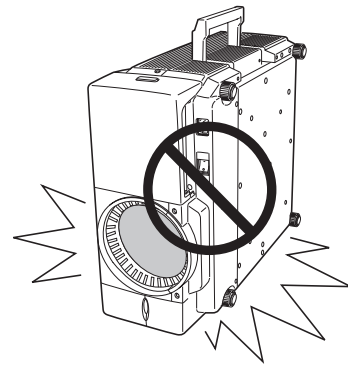
プロジェクターの輸送



プロジェクターを輸送するときは、専用の保護ケースをご使用ください。プロジェクターを単体で輸送したり、プロジェクターの重量に耐えられない不適切なケースで輸送すると、振動や衝撃でプロジェクターを破損する原因となります。輸送方法については販売店にご相談ください。



運ぶときや、プロジェクターを使わないときは、レンズ取り付け部にカバープレートを取り付けます。



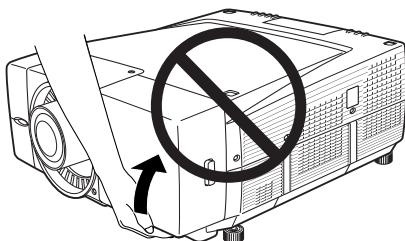
水平でない所には置かない。
下にものがないか確かめる。

プロジェクターを持ち抱える時のご注意

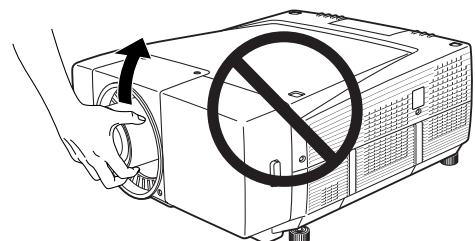
プロジェクターを持ち上げたり、動かすとき、つぎの事にご注意ください。

接続端子カバーを持ってプロジェクターを持ち上げないでください。カバーの破損や、事故の原因となります。

レンズを持ってプロジェクターを持ち上げないでください。レンズやプロジェクターを破損する原因となります。



接続端子カバーを持たない。



レンズ部を持たない。

はじめに

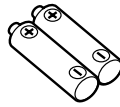
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

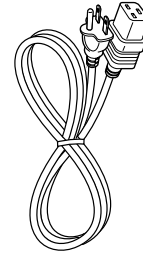
1 リモコン



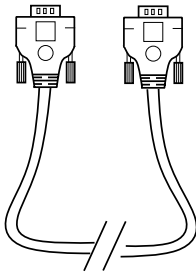
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三形2本)



3 電源コード



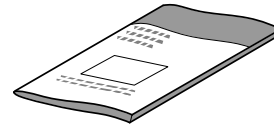
4 コンピュータ接続ケーブル
D-Sub 用



5 前面接続端子カバー用
コードひも



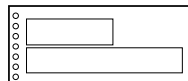
6 取扱説明書 2点
(本書と、ソフト説明書)



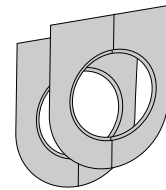
7 レンズ交換・
取付作業手順書



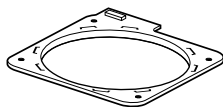
8 保証書



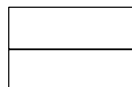
9 遮光プレート (2種)



10 レンズ取付金具



11 セキュリティー
ラベル

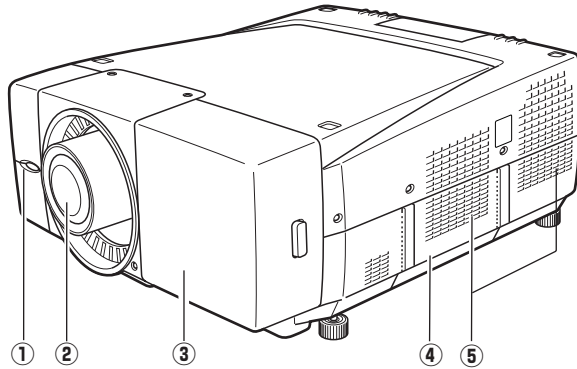


12 CD ROM



本体各部のなまえ

前面

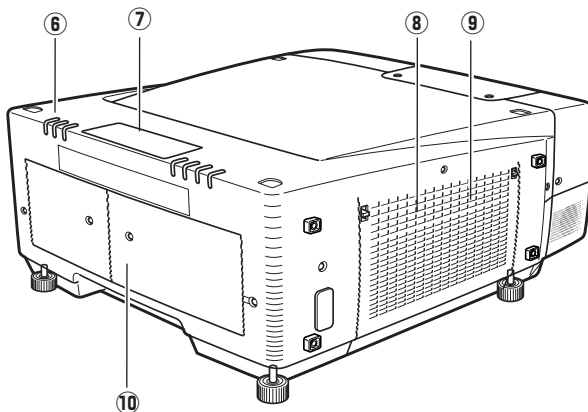


- ① リモコン受信部
- ② レンズ（別売品）
- ③ 前面接続端子カバー
- ④ キャリングハンドル
- ⑤ 排気口



ランプ点灯中は排気口から熱気が排出されますのでスプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

後面



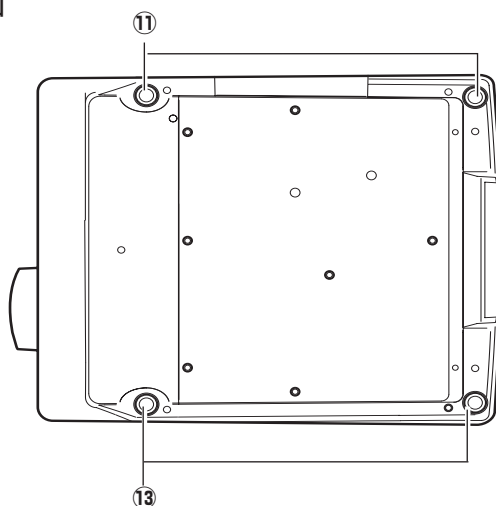
- ⑥ インジケータ
- ⑦ 上面操作部
- ⑧ 吸気口



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

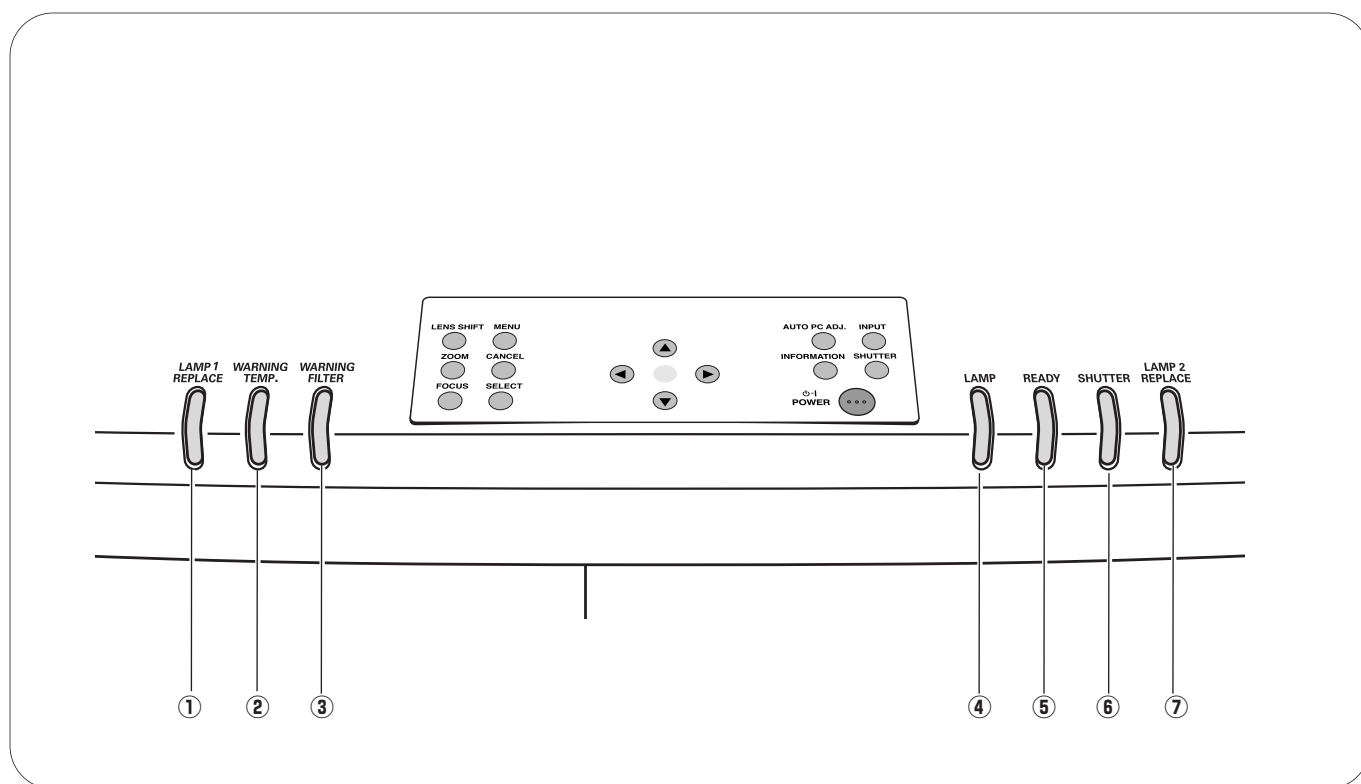
- ⑨ エアフィルター
- ⑩ ランプカバー

底面



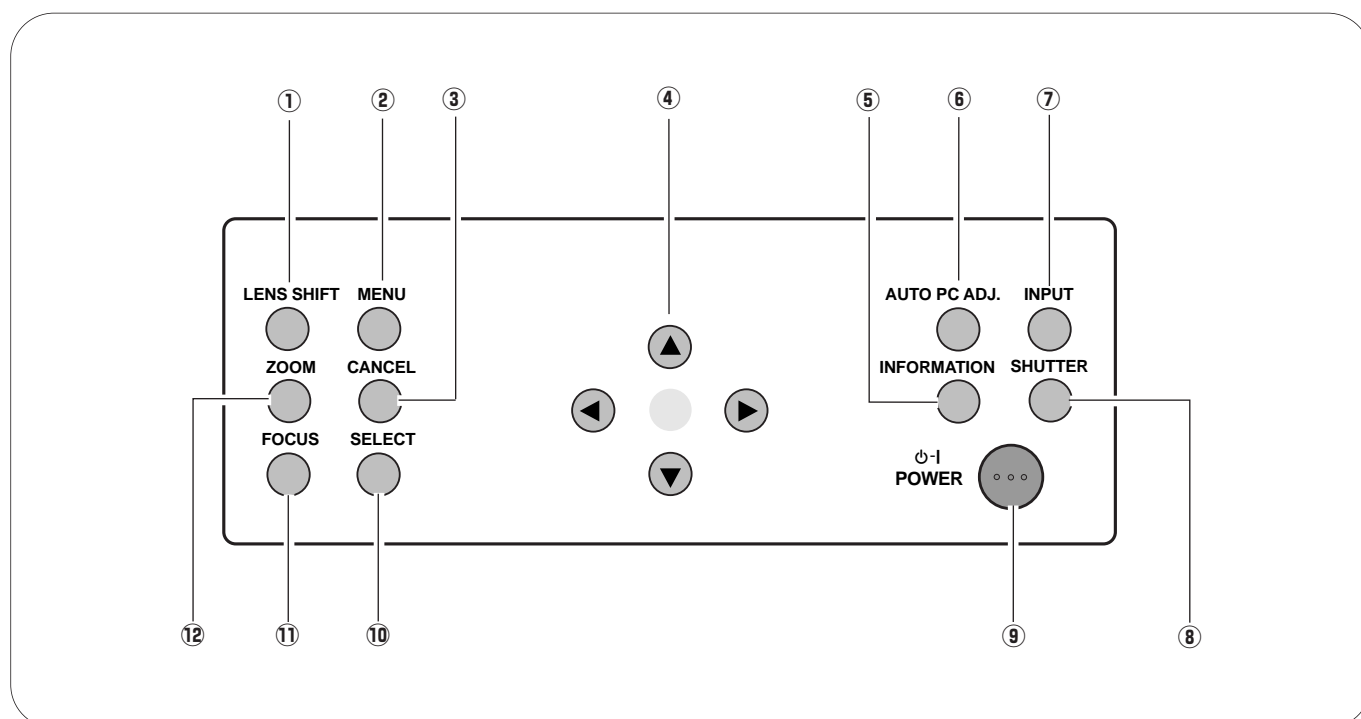
- ⑪ 傾き調整脚

本体インジケータ部分



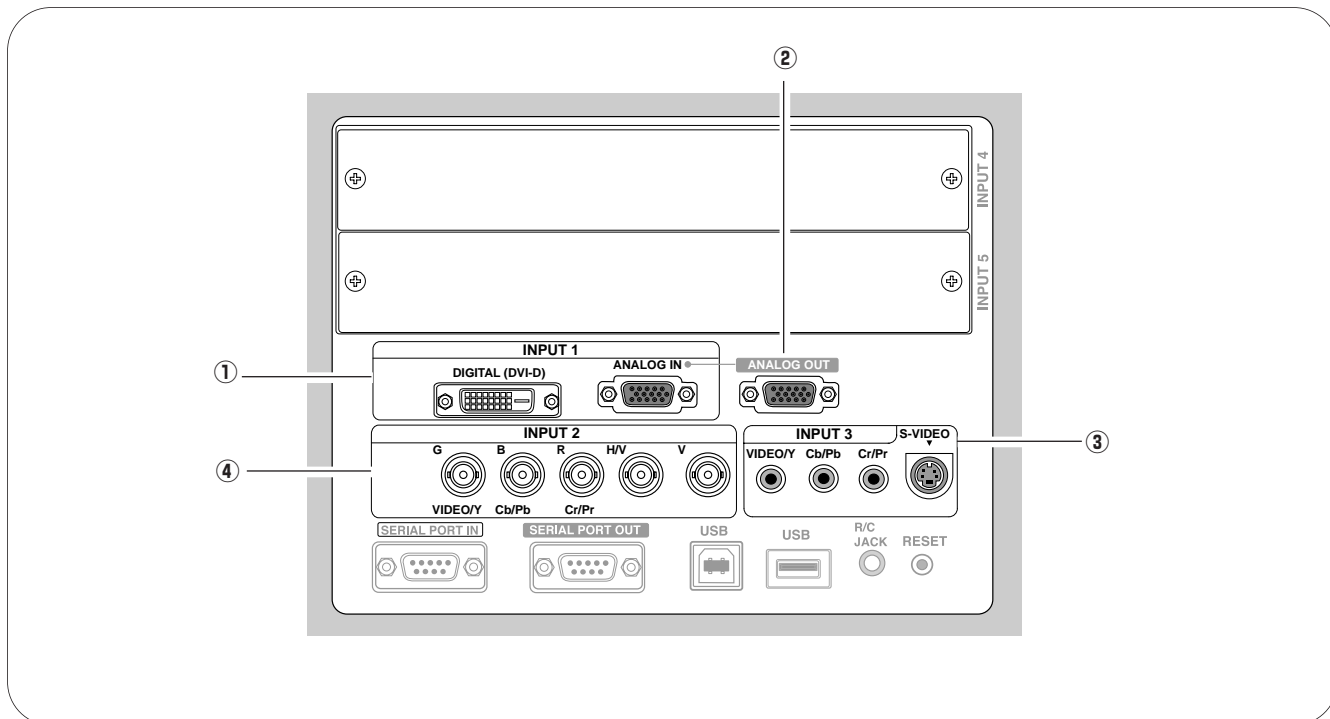
- ① **LAMP1 REPLACE** インジケータ (橙) 66、71ページ参照)
光源ランプ1が寿命になると点灯し交換時期を知らせます。
- ② **WARNING TEMP.** インジケータ (赤) 64、69ページ参照)
点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。
- ③ **WARNING FILTER** インジケータ (橙) 65、70ページ参照)
点灯して、フィルターの交換時期を知らせます。
- ④ **LAMP** インジケータ (赤) 69ページ参照)
主電源が入っている時点灯します。
ランプ点灯時は少し暗めの点灯となります。
- ⑤ **READY** インジケータ (緑) (69～71ページ参照)
電源を入れる準備ができたとき、またはプロジェクターが動作中に点灯します。
パワーマネジメントでプロジェクターの電源が切れているときは点滅します。
- ⑥ **SHUTTER** インジケータ (青) 70ページ参照)
シャッター作動中に点灯します。
- ⑦ **LAMP2 REPLACE** インジケータ (橙) 66、71ページ参照)
光源ランプ2が寿命になると点灯し交換時期を知らせます。

本体操作パネルのボタン



- ① **LENS SHIFT** ボタン(33ページ参照)
このボタンとポイントボタンでレンズを上下左右にスライドさせて画面の位置を上下左右に移動させます。
- ② **MENU** ボタン(37、38ページ参照)
メニューを出します。
- ③ **CANCEL** ボタン(37ページ参照)
選択した作業を中止し一つ前のメニューに戻します。
- ④ **ポイントボタン**(37ページ参照)
オンスクリーンメニューのポイントの移動や値の調節などに使用します。また、デジタルズーム+の画像の移動機能時にも使用します。
- ⑤ **INFORMATION** ボタン(34、63ページ参照)
現在の信号や設定状況が表示されます。
- ⑥ **AUTO PC ADJ.** ボタン(44ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑦ **INPUT** ボタン(34、40、41ページ参照)
インプット(入力)を切り替えます。
- ⑧ **SHUTTER** ボタン(33、57ページ参照)
内蔵のシャッターの開閉をします。
- ⑨ **POWER ON-OFF** ボタン(31、32ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ⑩ **SELECT** ボタン(37、38ページ参照)
ポイントの指す項目を選択します。また、デジタルズーム+/-の画像の拡大、縮小時にも使用します。
- ⑪ **FOCUS** ボタン(33ページ参照)
このボタンとポイントボタンでフォーカスを調整します。
- ⑫ **ZOOM** ボタン(33ページ参照)
このボタンとポイントボタンでズームを調整します。

機器をつなぐ端子



① 入力端子 1

デジタル (DVI-D) 入力端子(26、27、84ページ参照)
DVI規格対応の端子を持つコンピュータ及びビデオ機器からのデジタル (TMDS) 出力と接続します。接続にはDVI用コンピュータ接続ケーブルを使用します。DVIデジタルはHDCP に対応しています。

アナログ入力端子(26、28、84ページ参照)
コンピュータやビデオ機器 (RGB Scart 信号) からのアナログ (RGB) 出力と接続します。接続にはD-Sub用コンピュータ接続ケーブルもしくはSCART/VGA変換ケーブル(別売)を使用します。

② アナログ出力端子(26、57、84ページ参照)

この端子は入力端子1のアナログ入力端子の信号をそのまま出力します。この端子とモニターをD-Sub用コンピュータ接続ケーブルで接続します。

HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機のDVI入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI端子での再生はできなくなる場合があります。

③ 入力端子 3

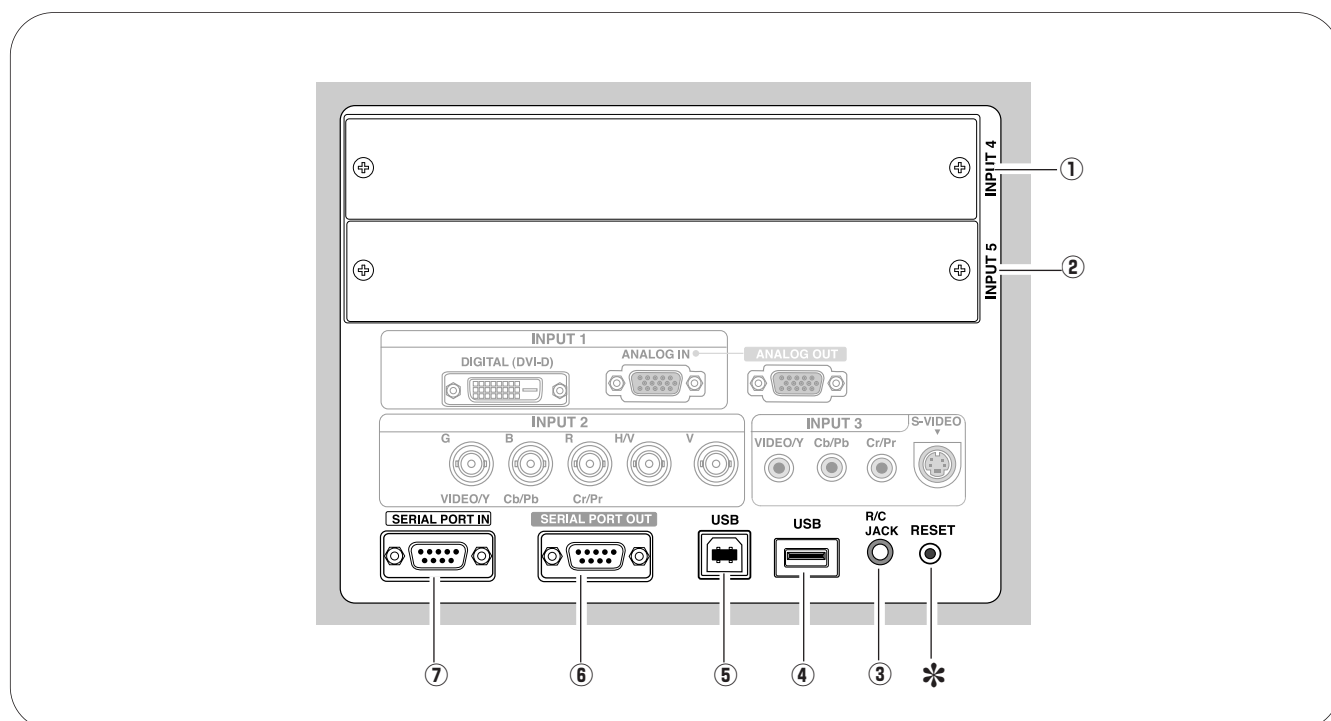
ビデオ入力端子(VIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr)
(27、28ページ参照)
ビデオ機器からの映像出力をこの端子に接続します。コンポジット映像出力はVIDEO/Y へ コンポーネント映像出力はVIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr へ接続します。

S映像入力端子(S-VIDEO)(27ページ参照)
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。

④ 入力端子 2

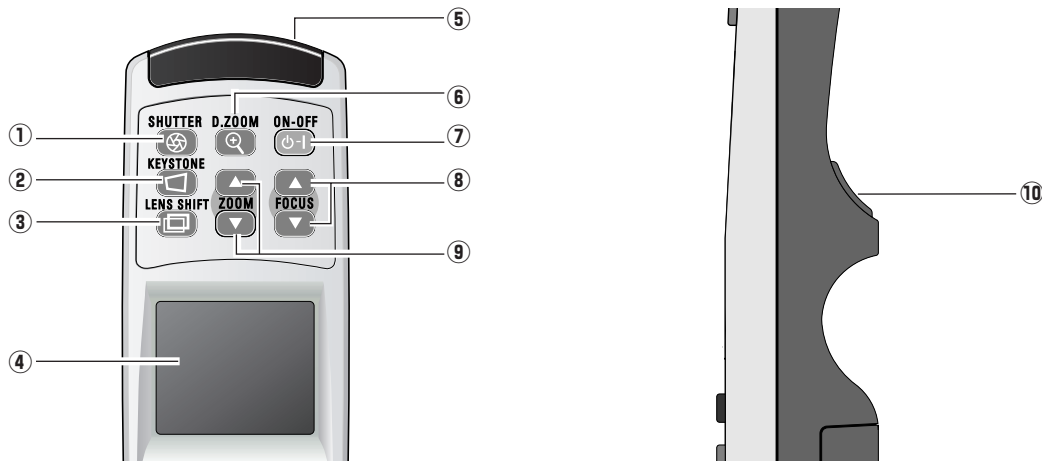
ビデオ入力端子
(VIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(28ページ参照)
ビデオ機器からの映像出力をこの端子に接続します。コンポジット映像出力はVIDEO/Y へ コンポーネント映像出力はVIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr へ接続します。

コンピュータアナログ入力端子
(G, B, R, H/V, V)(26ページ参照)
コンピュータからの5BNCタイプアナログ(RGB)出力をこの端子に接続します。

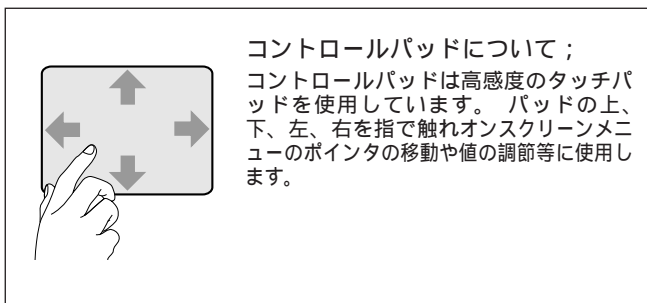


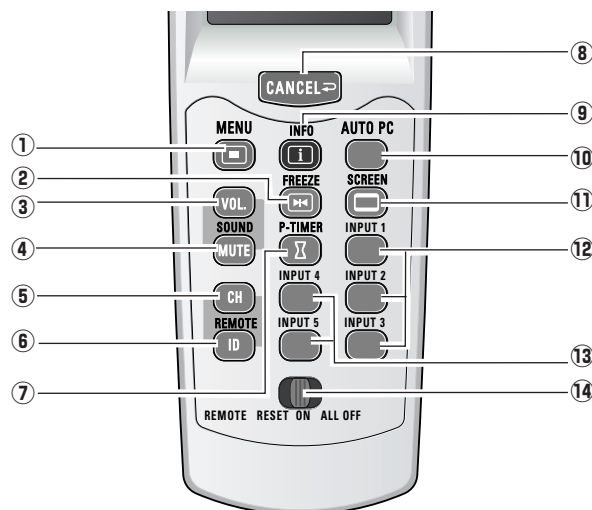
- ① 入力端子 4 (別売インターフェイスボード用空き端子)
(25、77ページ参照)
別売のインターフェイスボードを差し込みます。
- ② 入力端子 5 (別売インターフェイスボード用空き端子)
(25、77ページ参照)
別売のインターフェイスボードを差し込みます。
この入力端子はデジタル信号のみ対応します。
- * リセットボタン
本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。
それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。
- ③ リモートコントロール端子(20、29ページ参照)
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売の接続コードでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。
- ④ USB端子 (シリーズA)(29、84ページ参照)
USBマウスをつなぐと、オンスクリーンメニューの操作ができます。
- ⑤ USB端子 (シリーズB)(84ページ参照)
USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用します。
- ⑥ シリアルポート出力端子(84ページ参照)
シリアルポート入力端子に入力されている信号をそのまま出力します。1台のコンピュータで2台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と2台目以降のプロジェクターの SERIAL PORT IN 端子をつなぎます。
- ⑦ シリアルポート入力端子(84ページ参照)
プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポート (またはモデムポートなど) をつなぎます。

リモコンのボタン



- ① **SHUTTER** ボタン(33, 57ページ参照)
内蔵のシャッターの開閉をします。
- ② **KEYSTONE** ボタン(35, 52ページ参照)
このボタンとコントロールパッドで画面の台形ひずみ(あおり)を補正します。
- ③ **LENS SHIFT** ボタン(33ページ参照)
このボタンとコントロールパッドでレンズを上下左右にスライドさせて画面の位置を上下左右に移動させます。
- ④ コントロールパッド(37, 38ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動や値の調節等に使用します。また、パンニングの画像の移動機能時にも使用します。
- ⑤ **ワイヤードリモコン端子**(20, 29ページ参照)
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコン接続コードでこの端子とプロジェクターのリモコン端子(R/C JACK)を接続します。
リモコンの電池は必要です。
- ⑥ **D.ZOOM** ボタン(36ページ参照)
このボタンとSELECTボタンでデジタルズームの調整をします。
- ⑦ **POWER ON-OFF** ボタン(31, 32ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ⑧ **FOCUS** ボタン(33ページ参照)
フォーカスを調整します。
- ⑨ **ZOOM** ボタン(33ページ参照)
ズームを調整します。
- ⑩ **SELECT** ボタン(37, 38ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム+/-の画像の拡大、縮小時にも使用します。





- ① **MENU** ボタン(37、38ページ参照)
メニューバーを出します。
- ② **FREEZE** ボタン(35ページ参照)
画面を一時的に静止させます。
- ③ および ④
本機では使用しません。
- ⑤ **CH** ボタン(20、55ページ参照)
リモコンのCHを切り替えます。
- ⑥ **ID** ボタン(20、55ページ参照)
リモコンのIDを切り替えます。
- ⑦ **P-TIMER** ボタン(35ページ参照)
プレゼンテーションタイマーを設定します。
- ⑧ **CANCEL** ボタン(37ページ参照)
選択を解除し、一つまえのメニューに戻ります。
- ⑨ **INFO** ボタン(34、63ページ参照)
現在の信号や設定状況が表示されます。
- ⑩ **AUTO PC** ボタン(34ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑪ **SCREEN** ボタン(35、51ページ参照)
スクリーンの切り替をします。
- ⑫ **INPUT 1～3** ボタン(34、40、41ページ参照)
インプットを選択します (INPUT 1 ～ INPUT 3)。
- ⑬ **INPUT 4～5** ボタン(34、41ページ参照)
インプットを選択します (INPUT 4 ～ INPUT 5)。
- ⑭ **REMOTE RESET/ON/ALL OFF** スイッチ(20、21ページ参照)
リモコンを使用するとき、このスイッチを"ON" にします。
リモコンを使わないときは節電のために"ALL OFF" にします。
リモコンコード(CH 及び ID)を初期設定に戻すときは一度
"RESET" 側にします。

リモコンの準備

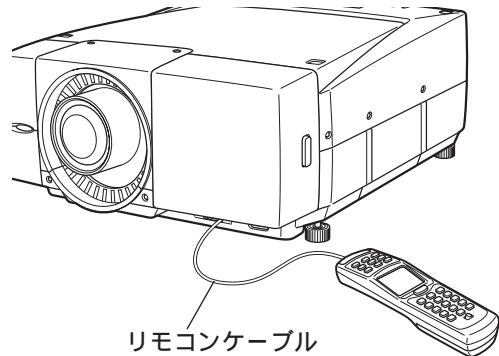
リモコンの準備

リモコン送信機について

このワイヤレスリモコンは無線式となっております。このリモコンは4つのCH(周波数帯)を持ち、それぞれの周波数帯で各8つのID(リモコンコード)が選択できます。このCH及びIDの選択機能により数台のプロジェクターを他のプロジェクターへの干渉なく、それぞれのリモコンで操作することが可能です。また、他の機器が使用する無線周波数への干渉が生じる場合においても、これらを切り替えて回避する事ができます。

ワイヤードリモコンとして使用するとき

このリモコンはワイヤードリモコンとしても使用する事が出来ます。他の機器への干渉がある場合、また、無線機器の使用制限がある場所で御使用になる場合、リモコンとプロジェクターを別売のリモコンケーブル(品番POA-CA-RC30)で接続します。リモコンにリモコンケーブルを接続すると、リモコンから無線信号は出なくなります。

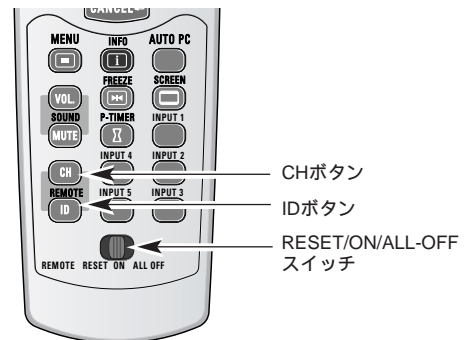


リモコンの周波数帯(CH)及びリモコンコード(ID)の設定

このリモコンは工場出荷時CH1、ID1 にセットされています。

はじめにCHを選択し、次にIDをセットします。CHとIDはリモコンとプロジェクターを合わせる必要があります。リモコンの設定を変える時は、プロジェクターの設定もこれに合わせて変えてください。

CHとIDの設定内容が分からなくなった時は一度、工場出荷状態に戻し設定を行ってください。



1 リモコンの周波数帯(CH)の切り替え

CHボタンを押したまま、SELECTボタンを押します。
SELECTボタンを押すごとにCHが切り替わります。
SELECTボタンを押す回数でCHナンバーが決まります。

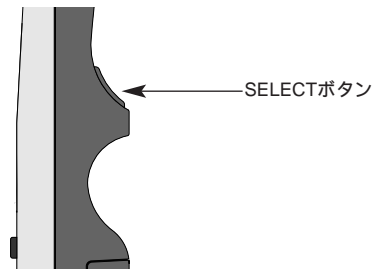
2 リモコンコードの(ID)の切り替え

IDボタンを押したまま、SELECTボタンを押します。
SELECTボタンを押すごとにIDが切り替わります。
SELECTボタンを押す回数でIDナンバーが決まります。

リモコンの周波数帯(CH)及びリモコンコード(ID)の初期化

設定したCHとIDを初期化する時はリモコンのCHボタンとIDボタンを同時に押したまま、RESET/ON/ALL-OFF スイッチをREMOTE RESET側にスライドさせそれからONに戻してください。CH1、ID1にリセットされます。

CHとIDを個別には初期化出来ません。



CH/IDボタンを押したまま、SELECTボタンを押します。
SELECTボタンを押す回数でCH/IDナンバーが決まります。

リモコンの周波数帯 (CH)	周波数
CH 1 *	2.472 GHz
CH 2	2.403 GHz
CH 3	2.446 GHz
CH 4	2.421GHz

CHボタンを押したまま、SELECTボタンを押します。SELECTボタンを押す回数でCHナンバーが決まります。



リモコンの周波数帯(CH)の切り替え

* 工場出荷状態



リモコンコード (ID)
ID 1 *
ID 2
ID 3
ID 4
ID 5
ID 6
ID 7
ID 8

IDボタンを押したまま、SELECTボタンを押します。SELECTボタンを押す回数でIDナンバーが決まります。



リモコンコード(ID)の切り替え

本リモコンは2.4GHz帯の周波数を使用し、以下の産業機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

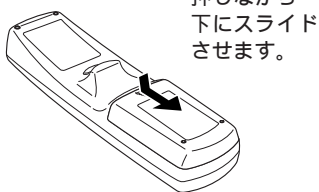
- ・産業・科学・医療用機器（ペースメーカー等）
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本リモコンを使用するまえに、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本リモコンから移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本リモコンの使用周波数帯を変更するか、使用場所を変更し、電波干渉をしないようにしてください。

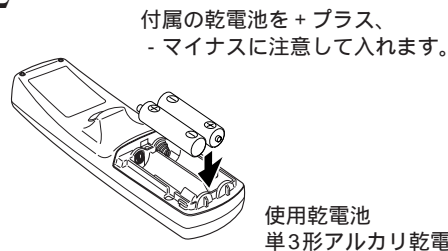
IEEE802.11bやIEEE802.11gなどの無線LAN環境下においては、本リモコンのチャンネル設定によっては電波が干渉して正常にリモコンが操作できない場合があります。本リモコンは無線LANでよく使用される無線LANの中心付近のチャンネル (5, 6, 7) を避け、初期設定は無線LANの13チャンネルの周波数帯である2.472GHzを使用しています。もし、干渉によって通信状況が悪い場合には、本リモコンのチャンネルをCH2へ設定し再度お試しください。それでも通信状況が悪い場合には、本リモコンのチャンネルをCH3, CH4でもお試しください。全てのチャンネルにて通信不良である場合には、2.4GHz帯無線使用機器との配置を改善し、できるだけそれらの機器と離してください。

電池の入れかた

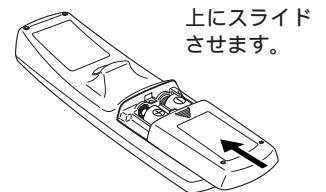
1 電池カバーを開けます。



2 電池を入れます。



3 電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんど注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。



注意



禁止

設置

設置について

プロジェクターを設置するまえに、安全上の注意をよくご覧のうえ、設置場所をよくご確認のうえ、安全な場所に設置してください。また、設置場所は、プロジェクターの重量を十分に支えられる場所に設置してください。不安定なスタンドや台、また、強度が不十分な金具を使つての取り付けは行わないでください。事故の原因となります。

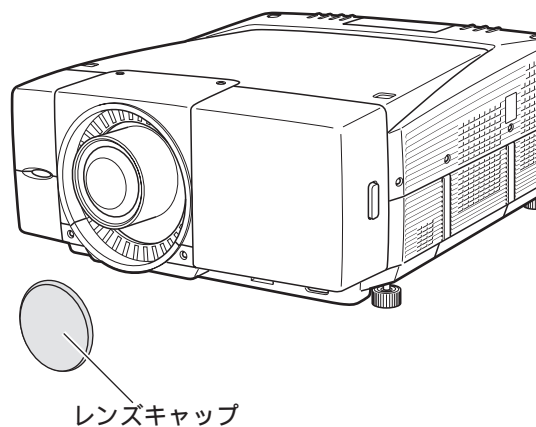
高温になる場所、高湿度の場所、ホコリ、砂ボコリの多い場所には設置しないでください。

また、空調ダクトの排気口付近には設置しないでください。

長期間建物内に設備として設置される場合、別売のスモークレジスタントボックス(品番POA-SR-140)を本機に取り付け、使われる事をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

レンズの取り付け

レンズはプロジェクターを設置するまえに取り付けてください。レンズの取り付けは別冊のレンズ交換・取り付け作業手順書にしたがい行ってください。レンズについての詳しくは取り扱い販売店にご相談ください。



注意

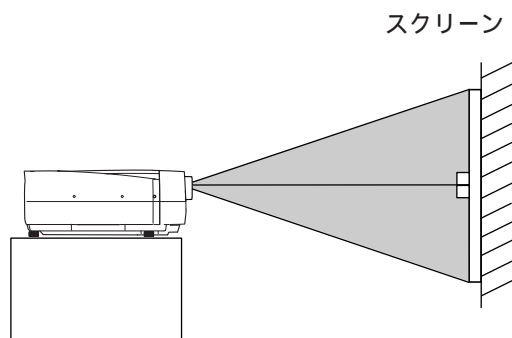
プロジェクターを設置するとき、また、プロジェクターを動かすとき、以下の事にご注意ください。

- ・レンズが正しくしっかりとプロジェクターに取り付けられているか。
- ・レンズにレンズキャップが取り付けられているか。
- ・プロジェクターを動かしたり、運ぶとき、レンズ部は絶対持たないでください。プロジェクターおよびレンズを破損する原因となります。

設置位置

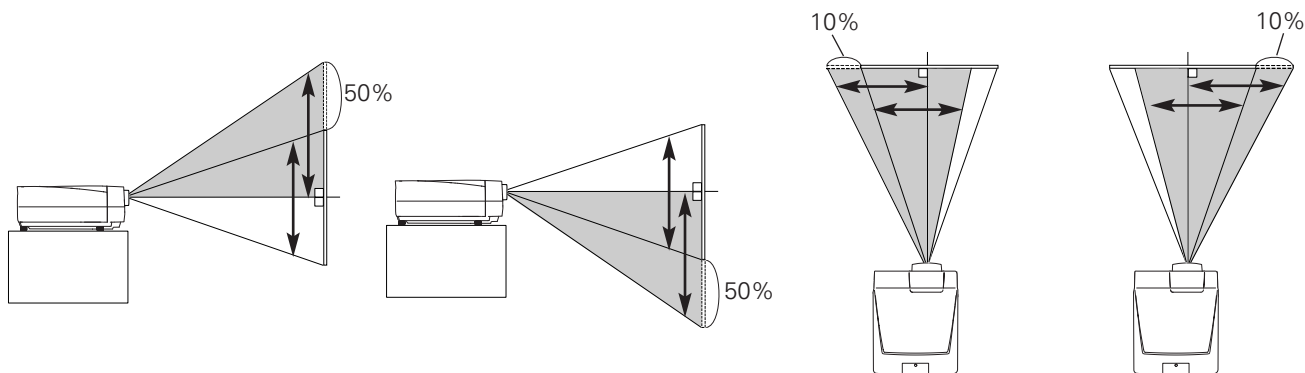
スクリーンに対して直角に投映してください。スクリーンに斜めに投映すると画面が台形に歪みます。スクリーン位置が合わない時は、レンズシフト機能で合わせることが出来ます。(33ページ参照)

画面の台形歪みは、キーストーン機能で補正する事が出来ます。スクリーンに外部光、照明が直接当たらない様に設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見難い画面となります。



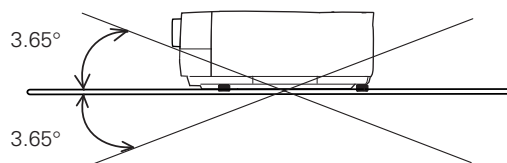
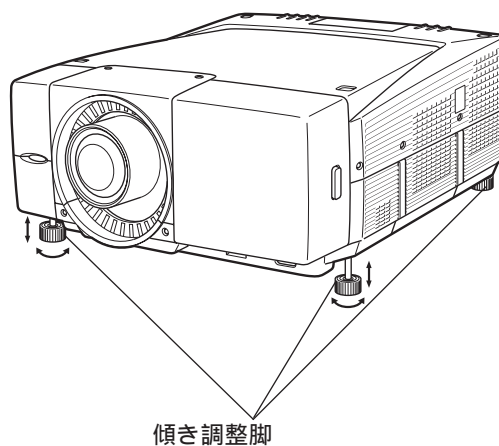
レンズシフト機能で画面位置を合わせる

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作で画面位置を上下に約50%、左右に約10%それぞれ画面の歪みが無く調整する事が出来ます。オプションレンズの種類により移動量は異なります。下図はLNS-W04装着時の移動量です。



投映画面の傾きを調整する

本体底面の調整脚を回し、画面の傾きを調整します。
調整脚の調整で、投映方向を、上向き、下向きにそれぞれ3.65度調整する事が出来ます。
設置面が傾いている時などは、この調整脚でプロジェクターの傾きを調整します。

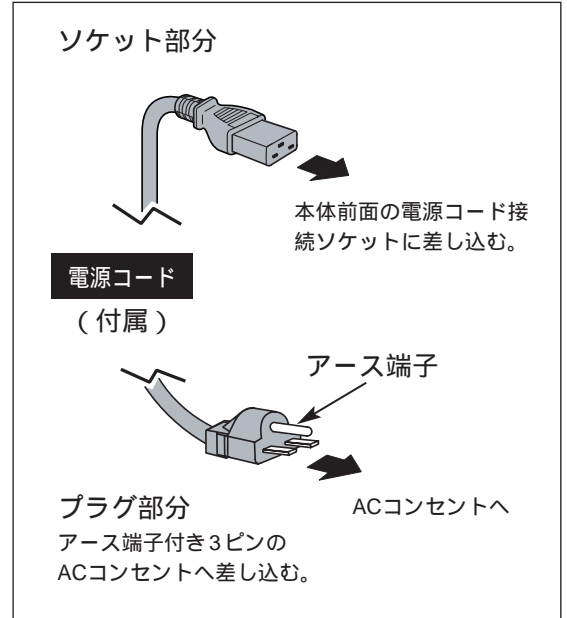
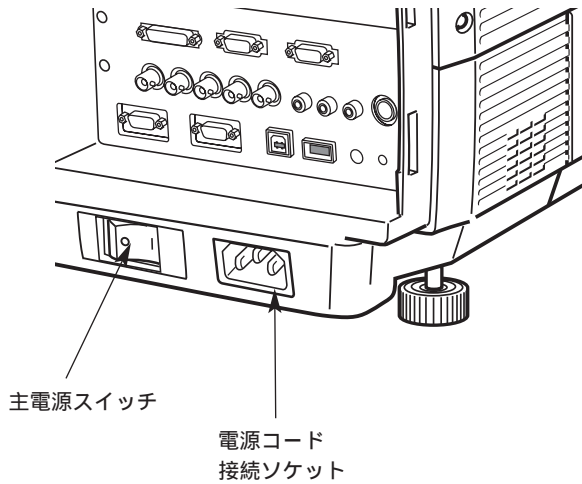


上向き、下向きに各3.65°調整することができます。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、26～28ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を、電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。



アース端子を接地してください

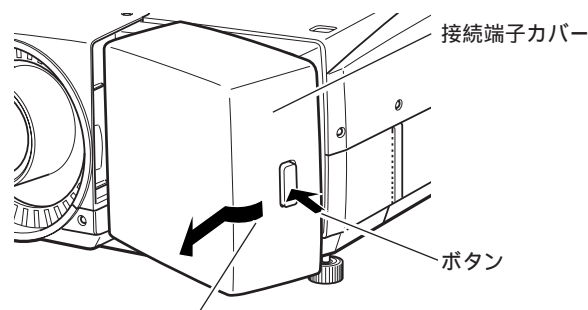
機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

前面接続端子

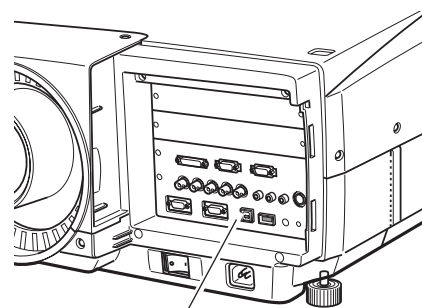
電源コードの接続ソケット、各機器の接続端子がプロジェクターの正面に設けられ、設置における機器の接続を容易にしております。また、接続端子は専用のカバーで覆われ、端子の保護と、端子部の見苦しい接続ケーブルをカバーですっきりと覆うことができます。

接続端子カバーの外しかた
接続端子カバーのボタンを押し、接続端子カバーを前面に引っ張り、接続端子カバーを外します。

接続端子カバーの取り付けかた
接続端子カバーの左端をプロジェクターのレンズ右面に差し込みます。
接続端子カバーをプロジェクター側に押しつけると、カバーのボタンがロックし固定されます。



ボタンを押しながら、接続端子カバーを前面に引きます。



前面端子

注意
接続端子カバーを強く押しつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。接続端子カバーが破損する原因となります。

カードスロット式接続端子

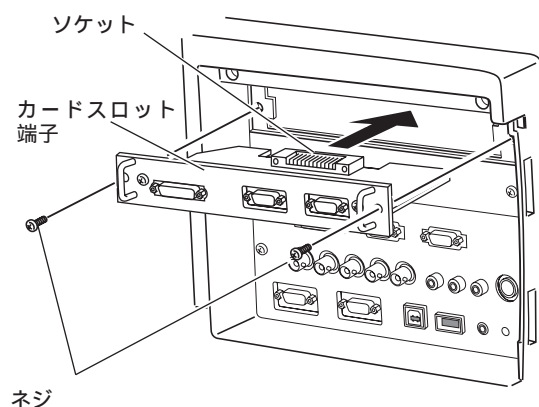
前面接続端子には、2つの空きカードスロット式接続端子が設けられています。別売のオプションボードを装着する事により、接続端子の拡張を行う事が出来ます。

INPUT 5端子はデジタル信号専用端子となっています。

オプションボードの取り付けは、以下の手順で行います。
1. ボードカバーの2本のネジを外します。
2. ボードカバーをはずします。
3. 新しいオプションボードをスロットに押し込み、2本のネジで固定します。

ご注意：
オプションボードの取り付け、取り外しのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

オプションボードをお使いになる時のご注意：
オプションボードをお使いになるとき、また、お買い求めになるとき、お買いあげ販売店に、オプションボードの品番と、プロジェクターのOption Control No.(オプションコントロール No.)をお伝えのうえ、オプションボードがプロジェクターに合っているかどうかご確認ください。
オプションコントロール No.は、プロジェクターのインフォメーションメニューで確認できます。



オプションコントロール No.

シャッターマネージメント	オン
スモークレジスト	
オプションフィルタ使用時間	
セキュリティ	キーロック
	PJロック
	USBロック
リモコンコード	CH-1
Option Control No. 06	

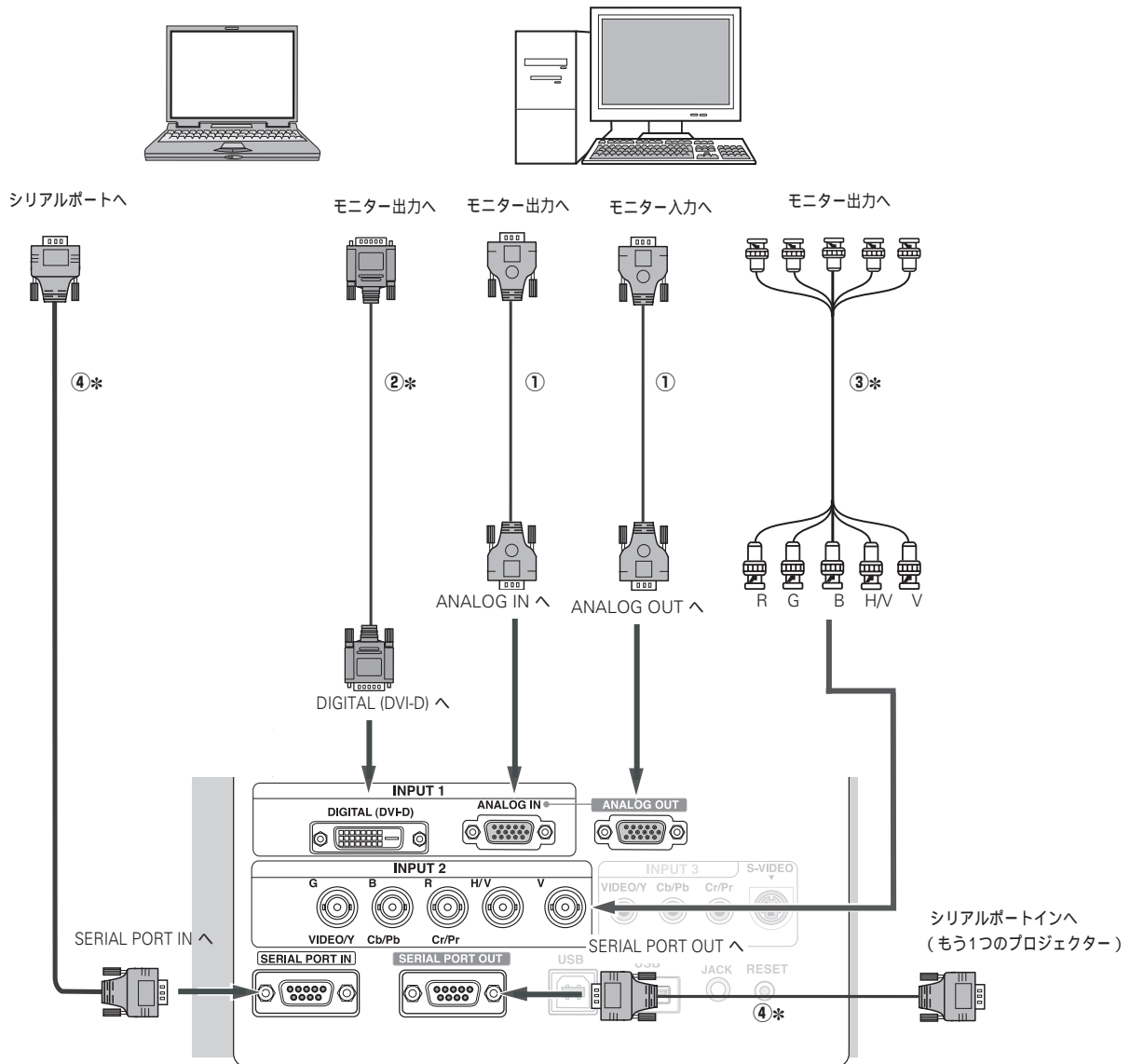
オプションボードをお買い求めのとき、メニューのインフォメーションでオプションコントロール No.をお確かめください。

機器の接続

デジタル及びアナログRGB出力コンピュータ

接続に使用するケーブル (* は、市販または別売のケーブルをお使いください。)

- ① VGA ケーブル (D-sub 用)
- ② DVI-D ケーブル*
- ③ BNC ケーブル *
- ④ シリアルクロスケーブル (RS-232C) *



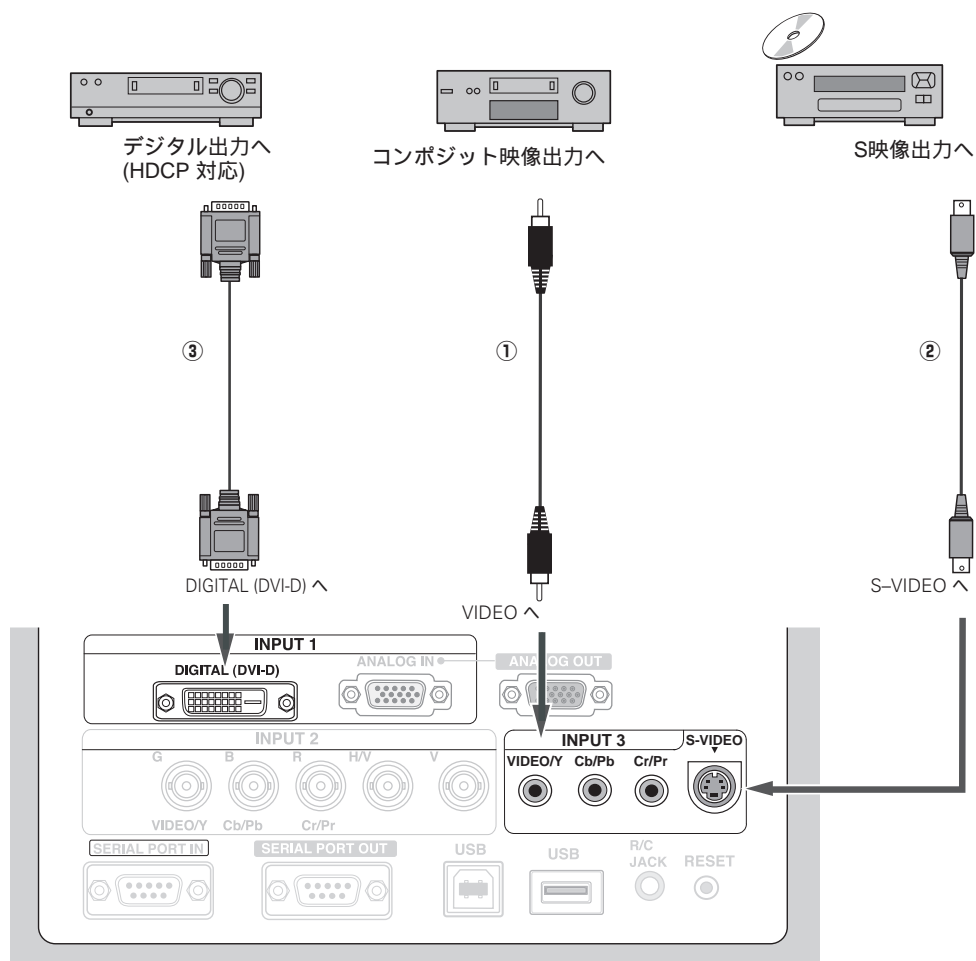
接続するときの注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。
はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

ビデオ機器（デジタル及びコンポジット/S映像信号）

接続に使用するケーブルは、市販または別売のケーブルをお使いください。

- ① ビデオケーブル (1 X ピンジャック)
- ② Sビデオケーブル
- ③ DVI-D ケーブル



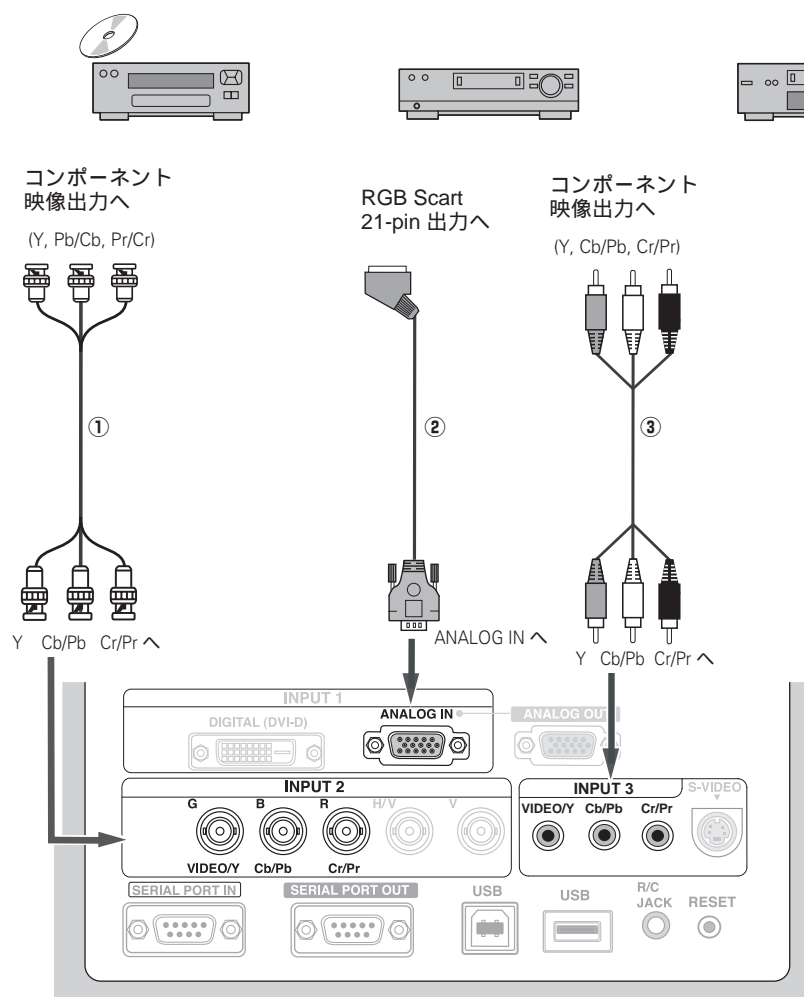
接続するときの注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。
はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

ビデオ機器（コンポーネント映像及び RGB Scart 信号）

接続に使用するケーブルは、市販または別売のケーブルをお使いください。

- ① BNCケーブル
- ② SCART/D-subケーブル
- ③ ビデオケーブル (3 X ピンジャック)



接続するときのご注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。
はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

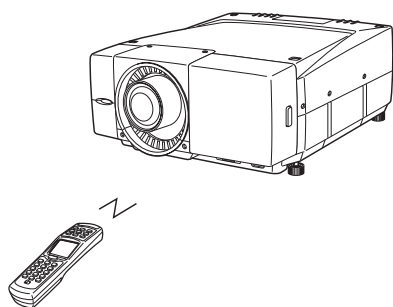
基本操作

プロジェクターの操作

プロジェクターは、プロジェクター本体の操作ボタン、リモコン、USBマウス（別売）で操作出来ます。また、リモコンは、ワイヤレス、ワイヤード式でも操作する事が出来ます。

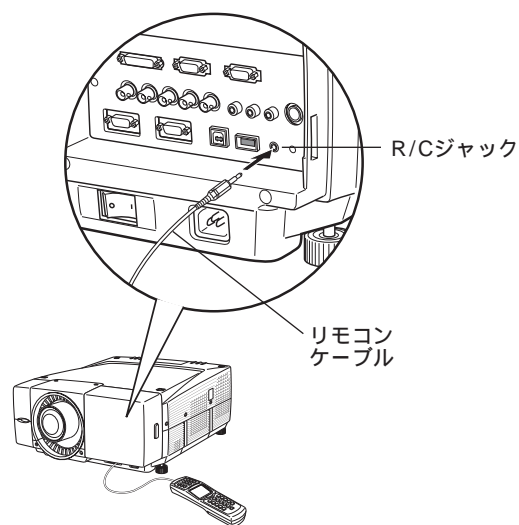
リモコンのワイヤレスは無線式となっており、約10mの範囲で操作する事が出来ます。（注意；操作範囲は建物の環境、また、他の機器からの無線干渉などがあると、操作範囲が異なったり、また場合によっては操作出来ない場合もあります。）

ワイヤレスリモコンで操作



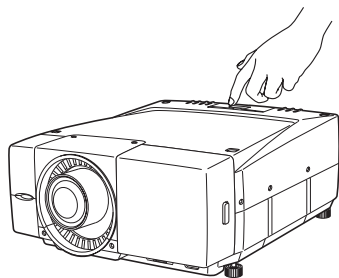
リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方、または、両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。

ワイヤードリモコンで操作

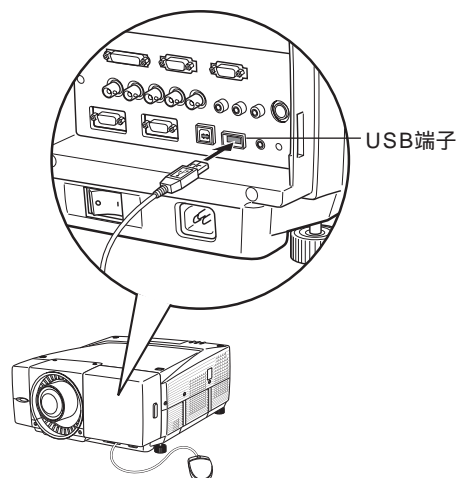


別売のリモコンケーブルで、前面端子のR/C JACKとリモコンのワイヤードリモコン端子を接続します。

プロジェクター本体で操作



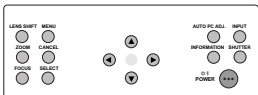

USBマウスで操作



USBマウスをプロジェクターのUSB端子へ接続します。プロジェクターのメニュー操作画面にマウスカーソルが現れます。マウスでプロジェクターを操作出来るのはプロジェクターのメニュー画面の中の項目だけです。その他の機能は操作出来ません。

基本操作とこれらの操作ボタン

ここに示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目とボタン	本体操作ボタン	リモコン	参照ページ
			
On-Off 電源入り・切り	○	○	31, 32
Lens Shift レンズシフト	○ → ポイントボタン	○ → パッド	33
Zoom ズーム	○ → ポイントボタン	○ (▲▼)	33
Focus フォーカス	○ → ポイントボタン	○ (▲▼)	33
Shutter シャッター	○	○	33, 57
Auto PC Adjust 自動PC調整	○	○	34, 44
Input Selection 入力選択	○	○ (Input 1-5)	34, 40~41
Information インフォメーション	○	○	34, 63
Keystone キーストーン	-	○ → パッド	35, 52
Screen Selection スクリーン選択	-	○	35, 51
Freeze フリーズ	-	○	35
P-Timer P・タイマー	-	○	35
D. Zoom D・ズーム	-	○ → パッド	36, 52
Remote CH and ID リモコンCHとID	-	○	20, 21
Menu メニュー	○	○	37~39
Select セレクト	○ + ポイントボタン	○ パッド	
Cancel キャンセル	○	○	
	メニュー操作を行います。	メニュー操作を行います。	

プロジェクターの電源を入れる

- 1 電源を入れる前に、各機器の接続を行ってください。接続の項26～28ページ参照
- 2 プロジェクター前面の、主電源スイッチを“入り”にします。LAMPインジケータが“赤”で点灯し、READYインジケータが“緑”で点灯します。
- 3 プロジェクターのPOWERボタン、または、リモコンのON-OFFボタンを押し、電源を入れます。LAMPインジケータが暗めの点灯に変わり、冷却ファンが回転をはじめます。約20秒間のオープニング画面（カウントダウン表示）が終わると、映像入力表示が現れ画面が出ます。

もしプロジェクターがPJ 暗証番号でロックされていると、暗証番号入力画面が出ます。
下記手順に従い 暗証番号を入力します。

メニューの「設定」のオンスタートの設定が“オン”になっていると、主電源スイッチを入れると自動的にプロジェクターの電源が入ります。

PJ 暗証番号の入力

1. ポイントボタンもしくはコントロールパッドで番号を選択し、SELECTボタンで決定します。番号が*で表示されます。もし番号を間違えて入力した場合、“C”または“Ent”を一度選択し、もう一度正しい番号を入れます。これらをくり返し、4桁の番号を入れます。
2. 4桁の番号が揃ったところで、ポイントボタンもしくはコントロールパッドで入力画面の“Ent”を選択し、SELECTボタンを押します。

誤ったナンバーを入力した場合、表示が消えます。正しい番号をはじめから入れ直してください。

暗証番号について

プロジェクターを所有者、または管理者以外が操作出来なくする為の暗証番号鍵となるものです。
暗証番号設定の詳細は59ページをご参照ください。



ご注意

プロジェクターを暗証番号で鍵かけを行ったあと、暗証番号を忘れた場合、プロジェクターは2度と操作出来なくなります。鍵かけを行った暗証番号は、本説明書85ページに記載のうえ、取扱説明書と共に大切に保管してください。



オープニング画面は20秒後に消えます。

選択された入力と、その信号が表示される。



インプットメニューの項40, 41 ページ参照

暗証番号入力画面



ポインター
(黄色にハイライト)




OK表示が消えると、プロジェクターが動作します。

プロジェクターの電源を切る

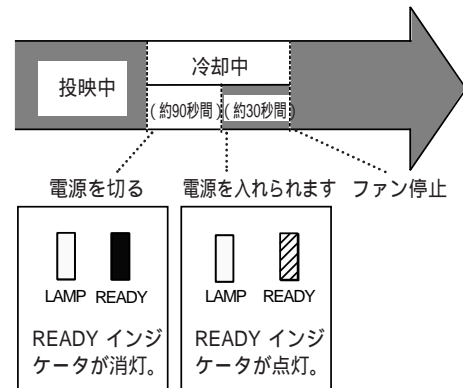
- 1 操作パネル、またはリモコンのPOWER ON-OFFボタンを押します。“もう一度押すと電源が切れます”の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間にもう一度POWER ON-OFFボタンを押すと、プロジェクターの電源が切れ、READYインジケータが消え、LAMPインジケータが“赤”で明るく点灯します。
 - 電源を切った後、約90秒間電源は入りません。
 - 電源を切った後、約90秒間、ランプの冷却を行っております。この間にPOWER ON-OFFボタンを押しても電源は入りません。約90秒経ち、READYインジケータが“緑”に点灯すれば電源を入れる事が出来ます。
- 3 冷却ファンは電源を切った後約2分間動作します。この間は主電源スイッチを切ったり、電源コードを抜かないでください。



4秒経つと表示が消えます。



光源ランプを長持ちさせるために
電源を切るときは、ランプ点灯後約5分以上経ってから行ってください。また、主電源スイッチを切るときや、電源コードを抜くときは、電源を切った後約2分間経って冷却ファンが止まってから行ってください。投映中、また、ファンが回転し、ランプを冷却中いきなり電源コードを抜いたりすると、ランプや回路に悪い影響を与えます。



ご注意：
冷却ファンの動作について
冷却ファンはプロジェクターの内部温度を自動検知し、その速度を自動で変えます。

1日1時間運転を休ませてください
プロジェクターを連続休みなしで継続運転しないでください。24時間に一度、1時間運転を休止してください。休みなしの連続運転をするとランプ寿命を縮める原因となります。

パワーマネジメント機能について
本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。パワーマネジメント機能が設定されていると、設定された時間中、信号が入力されず、プロジェクターが操作されなかった場合、プロジェクターはスタンバイモードになるか、または、プロジェクターの電源が切れます。パワーマネジメント機能についての詳しくは、「設定」のパワーマネジメント56ページをご参照ください。

レンズシフトで画面位置を合わせる

操作パネル、またはリモコンのLENS SHIFTボタンを押します。レンズシフト調整画面が出ます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで画面を上下左右に動かし、画面位置を合わせます。



- レンズが垂直位置の中央にあるときは、上下の矢印が赤で表示されます。
- レンズが水平位置の中央にあるときは、左右の矢印が赤で表示されます。

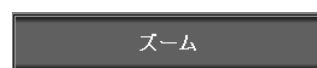
ズームとフォーカスを合わせる

操作パネルでの操作

ZOOMまたはFOCUSボタンを押し、ポイントボタンで調整します。

リモコンでの操作

ZOOMまたはFOCUSボタンで調整します。



シャッターの操作

操作パネル、またはリモコンのSHUTTERボタンを押します。操作パネルのSHUTTERインジケータが“青”色に点灯し、投射光が遮断されます。もう一度押すとシャッターが開放され、画面が投射されます。

リモコン

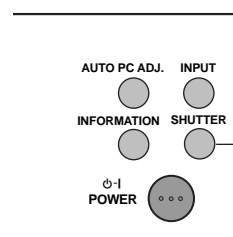


SHUTTER ボタン

ご注意：

シャッターの動作はその設定によって異なります。シャッター動作はメニューの「設定」の中で選択します。はじめにメニューの「設定」で動作の選択を行ってください。詳しくはメニューの「設定」の中のシャッター（57ページ）を参照ください。

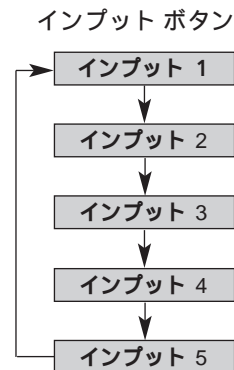
操作パネル



SHUTTER ボタン

入力信号の選択

操作パネルのINPUTボタン、または、リモコンのINPUT 1～INPUT 5で投映する入力の選択をします。選択のまえに、メニューの「インプット」で各入力の信号選択を行います。信号選択が正しく行われていないと入力選択ボタンを押しても信号は正しく投映されません。(40, 41ページ参照)



自動PC調整

コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「画面水平位置」「画面垂直位置」調整を、操作パネル、またはリモコンのAUTO PC ボタンを押すと自動で調整します。

ご注意：

自動PC調整で「トラッキング」「総ドット数」「画面水平位置」「画面垂直位置」の全てを完全に調整出来ないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整しカスタムモードに登録してください。

自動調整した内容を一度登録しておく、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。登録のしかたについてはコンピュータ調整の中の、手動PC調整の項(45, 46ページ)をご参照ください。

コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、480i、575i、480p、575p、720p(HDTV)、1035i(HDTV)、1080i/50(HDTV)、1080i/60(HDTV)信号のときは、自動PC調整ははたらきません。

インフォメーション

操作パネルのINFORMATIONボタン、またはリモコンのINFO.ボタンを押すと、画面にインフォメーション画面が現れます。この画面ではプロジェクターの動作環境、投映している信号内容等、プロジェクターの動作状態が表示されます。

プロジェクターの準備、運転において、うまく投映できない等のとき、このボタンを押すことにより簡単に問題解決の手助けになります。

インプット	インプット 1
	RGB (PC アナログ)
システム	VGA 1
信号	あり
スクリーン	ノーマル
言語	日本語
ランプモード	2灯
ランプ状態	ランプ 1 正常
	ランプ 2 正常
パワーマネジメント	オフ
シャッターマネジメント	オン 180分
スモークレジスト	あり
オプションフィルタ使用時間	0時間
セキュリティ	キーロック オフ
	PJロック オフ
	USBロック オフ
リモコンコード	CH-1 ID-1
Option Control No. 06	戻る

キーストーン調整(台形ひずみの補正)

投映画面の台形ひずみの補正をします。
リモコンのKEYSTONEボタンを押します。KEYSTONE調整画面が出ます。
ポイントボタンもしくはコントロールパッドで上下左右の台形ひずみを補正します。

ご注意：
LP-EF60Aは左右の台形歪み調整はできません。

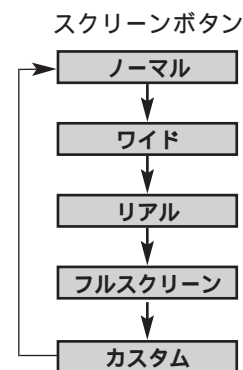


- 補正無し的时候は白の矢印となります。
- 補正を最大にすると、その方向の矢印が消えます。
- 補正をかけた方向の矢印は赤で表示されます。
- 調整の途中でKEYSTONEボタンを押すと、調整内容が無補正に戻ります。

画面サイズの選択

リモコンのSCREENボタンで、映像ソースに合わせ、画面のサイズを、ノーマル、ワイド、リアル、フルスクリーン、カスタムの中から選択することができます。

ご注意：
リアルはAVソースでは選択できません。
カスタムはメニューの「スクリーン設定」の中で設定したスクリーンサイズが投映されます。スクリーン設定(51ページ)参照。



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンのFREEZEボタンを押すと、画面が一時的に静止します。
もう一度押すと静止が解除されます。

こんなとき便利です。
プレゼンターがコンピュータでつぎの資料を準備する間、視聴者にはFREEZEボタンで一時静止した画像を見てもらい、準備中の無用な画像を隠すことができます。

プレゼン時に経過時間を表示する (P - TIMER)

リモコンのP - TIMERボタンを押すと、タイマーの画面が表示され、ボタンを押したときからの経過時間を表示します。もう一度P - TIMERボタンを押すと経過期間のカウントが止まりそれまでの時間が表示されます。さらにボタンを押すと解除されます。

こんなとき便利です。
プレゼンテーションの時間が決められているなどのとき、プレゼンターが経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行うことができます。



00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示します。

デジタルズーム + / -

画面の拡大、縮小をおこないます。

デジタルズーム +

リモコンのD・ZOOMボタンを押すとデジタルズーム + 表示が出ます。SELECTボタンを押すごとに画面が拡大します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドの操作で画面のパンニング操作を行います。



デジタルズーム +

デジタルズーム -

リモコンのD・ZOOMボタンを2度押すとデジタルズーム - 表示が出ます。SELECTボタンを押すごとに画面が縮小します。

ご注意：

デジタルズームモードから抜ける時は、入力の切り替え、またはスクリーンサイズを切り替えます。

パンニングモードを抜けるときは、D / ZOOM、SELECT、CH、ID以外のボタンを押します。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作のしかた

プロジェクターの操作や設定はオンスクリーンメニューを使って行います。メニュー操作は操作パネル、リモコン、またマウスでも行うことができます。各項目の設定や調整は次ページからの操作手順でおこないます。操作の前にメニューの動きを学習してください。

操作パネル・リモコンでの操作

- 1 MENUボタンを押します。メニュー画面が現れます。
- 2 ポイントボタン◀▶を押すか、もしくはコントロールパッドを触り、メニューを回転させ、操作するメニューグループを前面中心にします。アイコンがハイライトになり、調整項目の文字が現れます。
- 3 SELECTボタンを押します。調整項目リストが現れます。
- 4 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整項目を選択し、SELECTボタンを押します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整項目の調整・設定をおこないます。更に選択メニューが出る項目もあります。ポイントボタンもしくはコントロールパッドとSELECTボタンで目的の調整項目を選び、ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整、設定の変更をおこないます。

ご注意：

- 選択後SELECTボタンを押さないと選択項目が有効となりません。
- 選択内容の中止、または前のメニューに戻るにはCANCELボタンを押します。

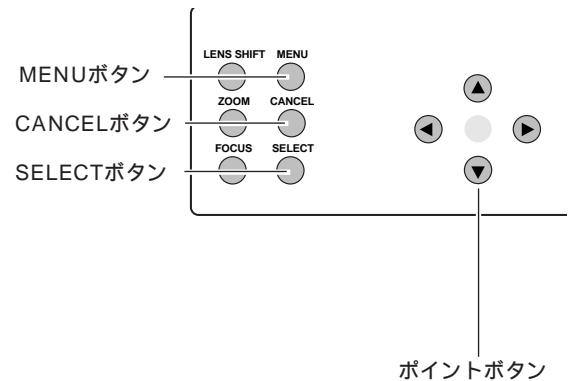
マウスでの操作

- 1 マウスの左ボタンをクリックし、メニューを出します。
- 2 メニューのアイコングループにマウスカーソルを合わせ左ボタンをクリックするとサブメニューが現れます。カーソルをメニューの◀▶または◀◀▶▶へ置き左ボタンのクリックでメニューグループを選択し、SELECTをマウスの左ボタンでクリックすることでも選択できます。
- 3 調整項目をマウスカーソルで選択し、左ボタンをクリックすると項目が選択されます。メニューの 部を左クリックし、選択項目の調整・設定をおこないます。
- 4 更に選択メニューが出る項目もあります。メニューの 部を左クリックし、目的の調整項目を選び、選択項目の調整、設定をおこないます。

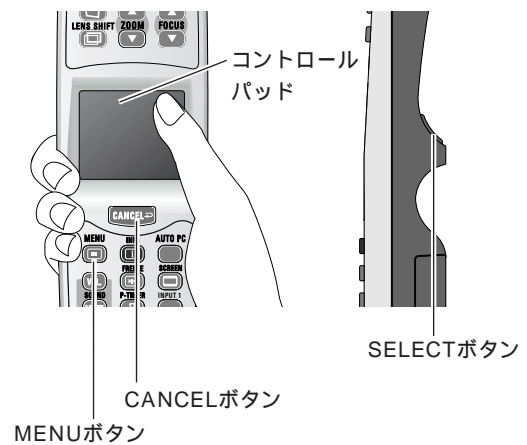
ご注意：

- 選択内容の中止、または前のメニューに戻るには右ボタンをクリックします。

操作パネル



リモコン



オンスクリーンメニュー



メニューアイコン

メニューグループ名
現在選択されている項目

メニューアイコン選択ボタン

◀◀◀をクリックするとメニューアイコンが早く回転し、◀▶アイコンをクリックするとメニューアイコンが1つずつ回転します。

選んだアイコンが前の真ん中に来たとき、SELECTを選択するとその項目が選択されます。

マウスマウスカーソル



ポインター (選択されている項目が黄色にハイライトとなる)

調整項目を選択します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで項目を選択し、SELECTボタンを押します。マウスで選択する場合、マウスマウスカーソルを調整項目にあわせ、左ボタンをクリックします。

次のメニュー項目があることを示しています。この項目を選択するとつぎのメニューが現れます。

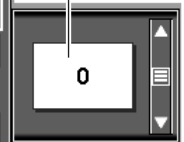
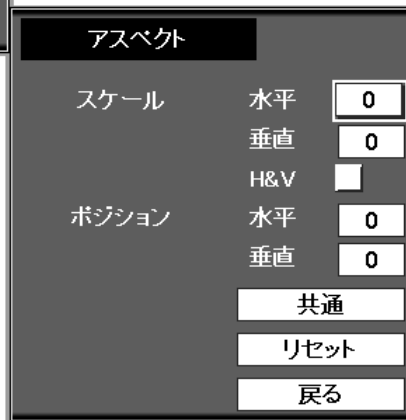
調整値

調整は をクリックするか、真ん中のバーをドラッグします。

調整項目

戻る
選択すると前のメニューに戻ります。

選択位置表示ポイント
ポイント表示がある項目が選択されています。表示が無いとその項目は選択されていません。



ご注意 :

このメニュー項目はUSBマウスをプロジェクターへ接続したとき表示されます。

プロジェクターをマウスで操作できるのは、メニュー項目の範囲内です。

メニューアイコンとそれらの機能

各メニューアイコンの操作機能は以下の様になっております。調整を必要とする機能のアイコンを選択し、それぞれの調整を行ってください。

メニュー アイコン	メニューでの設定及び調整	参照ページ
	インプットメニュー プロジェクターの入力選択と、各入力の信号設定を行います。 各入力の信号設定を行っていないと、入力選択をしても映像が正しく映らないことがあります。	40~41
	システムメニュー コンピュータのシステム、および映像のカラーシステム、映像の走査方式の選択をします。	42~43
	PC調整メニュー 手動でコンピュータ信号に合わせる調整をします。調整した内容はカスタムモードに登録しておくことが出来ます。	44~46
	イメージメニュー 映像内容に合わせ、映像の画質を選択します。「イメージ調整」の項でコンピュータ、ビデオの映像合わせ、10種類の手動で調整した画質を登録することが出来、各映像に合わせ、これを選択する事が出来ます。	47
	イメージ調整メニュー 映像の各素材を、映像に合わせ、手動で詳細に調整する事が出来ます。また、調整した内容はカスタムモードとして登録しておくことが出来、映像選択時、入力映像に合わせ登録したイメージモードを選択することが出来ます。	48~50
	スクリーン設定メニュー 映像内容に合わせ希望の画面サイズを選択します。また、映像信号に合わせ、手動で画面の位置やサイズを調整することが出来ます。 デジタルズーム、キーストーンの調整、天井取り付け、スクリーン背面からの投映など、投映方法に合わせた投映形式の設定などが行えます。	51~52
	設定メニュー プロジェクターの動作環境の設定を行います。 メニュー言語の選択、メニューの表示方法、ユーザーロゴの設定、セキュリティーの設定（暗証番号ロック、キーロック、USBロック）、パワーマネージメント、オンスタート設定、シャッター動作設定、リモコンのCHとIDの設定など。	53~60
	スペシャルメニュー プロジェクターの動作環境、保守に関わる特別な設定をします。	61~63
	インフォメーションメニュー プロジェクターの動作状態を表示します。	63

入力信号の選択



インプット

コンピュータ、ビデオ等、プロジェクターの入力選択をします。

- 1 MENUボタンを押し、メニューを出します。
ポイントボタンもしくはコントロールパッドでインプットアイコンを選択し、SELECTボタンを押します。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドでプロジェクターで投映する入力を選択し、SELECTボタンを押します。
信号選択メニューが現れます。
- 3 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで入力された信号の選択をします。

インプットメニュー



インプットアイコン

ポインターで入力を選択し、SELECTボタンを押します。

選択されている項目は、ポイントマークで表示されます。

インプット 1

- | | |
|---------------|--|
| RGB(PCアナログ) | INPUT 1のANALOG IN端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているとき選択します。 |
| RGB (Scart) | INPUT 1のANALOG IN端子に、映像機器のSCART映像出力*がSCART-VGAケーブルで接続されているとき選択します。 |
| RGB(PCデジタル) | INPUT 1のDIGITAL(DVI-D)端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているとき選択します。 |
| RGB (AV HDCP) | HDCP対応のデジタル映像信号がINPUT 1のDIGITAL(DVI-D)端子に接続されているとき選択します。 |

インプット 1



信号選択メニュー

入力信号を選択し、SELECTボタンを押します。

ご注意：

SCART映像出力は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターのANALOG IN端子を専用ケーブル（別売）で接続します。

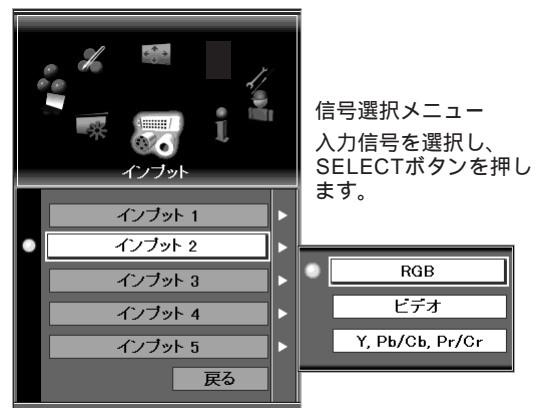
インプット 2

- | |
|-----|
| RGB |
|-----|

 コンピュータのアナログ信号がINPUT 2 (BNC端子 : R, G, B, H, V)に接続されているときに選択します。
- | |
|-----|
| ビデオ |
|-----|

 ビデオ信号がINPUT 2のVIDEO端子に接続されているときに選択します。
- | |
|---------------|
| Y,Pb/Cb,Pr/Cr |
|---------------|

 コンポーネントビデオ信号がINPUT 2の Y,Pb/Cb,Pr/Cr 端子に接続されているときに選択します。



インプット 3

- | |
|-----|
| ビデオ |
|-----|

 ビデオ信号がINPUT 3のVIDEO/Y端子に接続されているときに選択します。
- | |
|---------------|
| Y,Pb/Cb,Pr/Cr |
|---------------|

 コンポーネントビデオ信号がINPUT 3の Y,Pb/Cb,Pr/Cr 端子に接続されているときに選択します。
- | |
|---------|
| S-Video |
|---------|

 S-VIDEO信号がINPUT 3のS-VIDEO端子に接続されているときに選択します。



インプット 4/インプット 5

INPUT 4 およびINPUT 5のスロット端子は空きとなっています、これらのINPUTは選択できません。カードスロットにオプション端子を接続すると、オプションスロットに相当するメニューが現れます。

ご注意：

INPUT 5はデジタル信号のみの対応となっております。

システムの選択



システム

コンピュータ、および映像の信号システムの選択をします。

コンピュータシステムの選択

本機は接続されたコンピュータの信号を自動判別し、プロジェクターに備えられているシステムモードに適合するモードを自動選択し、プロジェクターを自動調整します。このため、ほとんどの場合特別な調整をすることなくコンピュータ画面を投映することが出来ます。

選択されたシステムモードはシステムメニューに表示されます。本機が備えているシステムモードは74、75ページに表示されています。

ご注意：

システムメニューには以下の何れかが表示されます。

XGA 1

プロジェクターに備えられているシステムモードの中から、自動判別で選択されたモードが表示されます。

コンピュータの信号が検出出来なかったとき表示されます。コンピュータから信号が出ているか、コンピュータの接続は正しいかご確認ください。

モード 1

お客様が手動で設定し、登録したシステムモードが選択されたとき表示されます。

ご注意：

上記表示は表示の一例です。

システムを手動で選択する

プロジェクターがコンピュータの信号システムをうまく判別できなかった場合、いくつかのシステムモードがシステムメニューに表示されます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドでそれらを選択し、最良の映像が得られるシステムモードを選択します。それでもコンピュータ映像が正しく表示されない場合は、「PC調整」の項45、46ページを参照のうえ手動で調整を行います。

1 メニューボタンを押し、メニューを出します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドでシステムアイコンを選択しSELECTボタンを押します。システムモードメニューが表示されます。

2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドでコンピュータの信号が最適に映るモードを選択し、SELECTボタンを押します。

コンピュータシステムの選択



システムアイコン

カスタムモード
PC調整で登録されたモードが表示されます。

選択位置を示します。

ビデオ・S-VIDEOの選択

自動(AUTO)選択

AUTOを選択すると、プロジェクターは自動的に信号システムを選択し、最良の画面に調整します。

PAL-M, PAL-Nシステムは手動での選択が必要です。

手動での選択

プロジェクターが自動で選択できない場合、メニューのPAL/SECAM/NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL-Nから該当する映像システムを選択します。

システムメニュー（ビデオ・S-VIDEO）



コンポーネント信号の選択

自動(AUTO)選択

AUTOを選択すると、プロジェクターは自動的に信号システムを選択し、最良の画面に調整します。

手動での選択

プロジェクターが自動で選択できない場合、メニューの480i, 575i, 480p, 575p, 720p, 1035i, 1080i/50, 1080i/60から該当する映像システムを選択します。

ご注意：

AVシステムメニュー（コンポーネント）信号システムを黄色点灯させ、SELECTボタンを押します。

システムメニュー（コンポーネント）



コンピュータ調整



PC調整

コンピュータ信号への自動調整、または手動での調整を行います。
また、調整したコンピュータの登録を行います。

自動PC調整

コンピュータ入力信号に合わせプロジェクターを自動調整します。

1 メニューボタンを押し、メニューを出します。
ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「PC調整」
アイコンを選択しSELECTボタンを押します。
PC調整メニューが表示されます。

2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「自動PC調整」
を選択し、SELECTボタンを押します。
自動PC調整はプロジェクターの操作パネル、リモコンで
も出来ます。

調整内容のプロジェクターへの登録

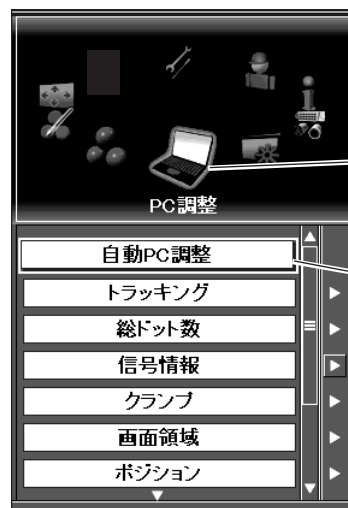
自動PC調整で調整した内容をカスタムモードへ登録しておくこと
が出来ます。一度登録しておく下次の機会そのコンピュータを使
うとき、「システム」メニューでその登録したモードを選択するの
みで再度PCの調整を行うことなく映像を投映することが出来ま
す。登録のしかたは46ページ参照。

一部のコンピュータによっては、自動PC調整で「トラッキング」「総ド
ット数」「画面位置」が完全に調整出来ないものがあります。この場合、
手動で調整を行ってください。45、46ページ参照。

自動PC調整は以下の信号では動作いたしません。

DVI端子からのデジタル信号。「システム」メニューでつぎの信号を選択
したとき; 480i, 575i, 480p, 575p, 720p(HDTV), 1035i(HDTV),
1080i/50(HDTV)、1080i/60(HDTV)

PC調整メニュー



PC調整アイコン

ポイントボタン
もしくはコント
ロールパッドで
“自動PC調整”
を選択し
SELECTボタン
を押します。

手動PC調整

コンピュータによっては自動PC調整でプロジェクターをコンピュータに合わせられないものもあります。この場合、手動でプロジェクターをコンピュータ信号に合わせます。手動による調整は、プロジェクターをコンピュータ信号の各パラメーターについてそれぞれ詳しく調整する事が出来、コンピュータ信号によりマッチした映像を投映することが出来ます。調整したその内容（コンピュータ）はプロジェクターに登録しておくことが出来、つぎにそのコンピュータを使うときは調整の必要がありません。最大50件の登録が可能となっております。調整・登録は以下の手順で行います。

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「PC調整」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。PC調整メニューが表示されます。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整する項目を選択（黄色にライトアップさせます）し、SELECTボタンを押します。
- 3 更にメニューが表示される項目は次々と必要調整項目を選択し、SELECTボタンを押します。選択した項目、また調整はSELECTボタンを押さないと有効となりません。また、選択した項目のメニューにポイントマークが表示されていることをご確認ください。調整はポイントボタンもしくはコントロールパッドで行います。

トラッキング調整

画面同期がずれて、画面にフリッカーがあるとき調整します。数値を調整し画面のちらつきを最小にします。コンピュータによっては完全に消えないものもあります。

総ドット数

水平方向のドット数を、コンピュータ信号のドット数に合わせます。画面両サイドにブランクが出たり、画面が欠けたりしない様にします。

信号情報

ここを選択すると、現在入力されている信号の水平、垂直周波数が表示されます。

クランプ

同期信号期間の位相、幅を調整します。画面両サイドが切れたり、同期がとれ難かったり、同期が不安定なとき調整します。

画面領域

投映領域の解像度を調整します。

水平

水平方向の解像度を調整します。

垂直

垂直方向の解像度を調整します。

PC調整メニュー



黄色のポインターを項目に合わせ、SELECTボタンを押します。



ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整します。



現在投映している信号内容を表示します。

コンピュータ調整

ポジション

画面位置の調整を行います。

V同期位相

ノイズ等の影響で垂直同期が不安定なときこの調整を行います。このメニューは工場出荷時表示されなくなっています。調整するときは「設定」メニューの「メニュー」の中の「マイメニュー」で設定を変え表示を出してください。

リセット

調整を行った内容をキャンセルし、調整前の値にもどします。

モード（調整内容を登録します）

調整した内容を登録しておくことができます。登録を行うと「システム」メニューに登録したモード(モード1～50)が表示されます。

メモリー（登録）

1. 各項目を調整したあと、メニューの「モード」の「メモリー」を選択しSELECTボタンを押します。モード登録画面が出ます。
2. ポイントボタンもしくはコントロールパッドで登録場所(モード1～50)を選択(選択場所が黄色にライトアップされます)し、SELECTボタンを押します。確認画面が出ます。“はい”を選択すると登録完了です。

消去（登録の解除）

1. 「モード」の「消去」を選択しSELECTボタンを押します。モード消去画面が出ます。
2. ポイントボタンもしくはコントロールパッドで消去するモード(モード1～50)を選択(選択場所が黄色にライトアップされます)し、SELECTボタンを押します。確認画面が出ます。“はい”を選択すると消去完了です。

戻る

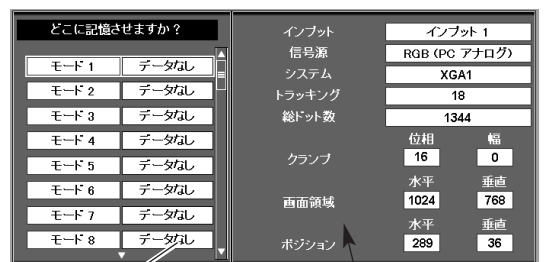
“戻る”を選択すると、前メニューに戻ります。

ご注意：

トラッキング画面領域は以下の信号では選択できません。
480i, 575i, 480p, 575p, 720p, 1035i, 1080i/50, 1080i/60



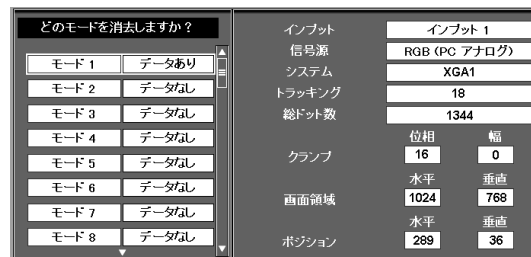
調整データの登録



空きモード

登録した信号内容が表示されます。

登録の消去





イメージ選択 画質の選択をします。映像内容に合わせ、好みの画質を選択します。

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。
ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「イメージ」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。
イメージ選択メニューが表示されます。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで好みのイメージを選択し、SELECTボタンを押します。
選択した画質の映像が投映されます。

PC入力するとき

標準

標準的な画質で投映されます。

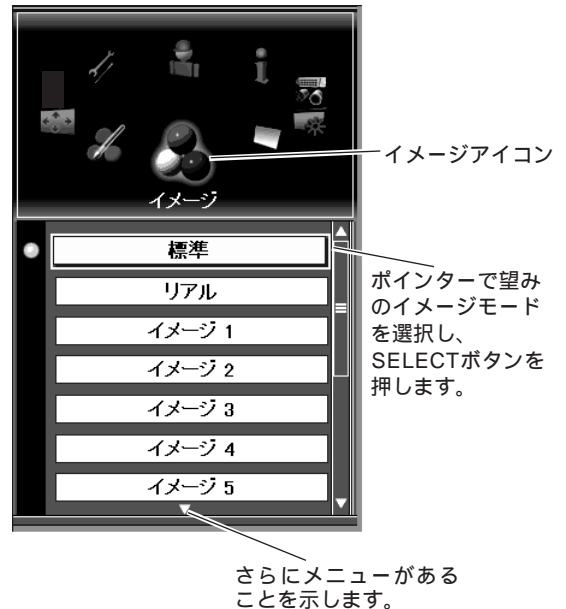
リアル

中間調の再現性が高くなります。写真など、グラフィックスの映像を自然な階調で再現します。

イメージ 1 ~ 10

イメージ調整で、調整・登録した画質を呼び出します。

イメージ選択メニュー(PC)



イメージ選択メニュー(AV)



イメージ 1~10はお客様によって設定・登録された画質で、あらかじめ好みの画質を設定し登録しておくこと、ここでその画質を呼び出すことが可能です。登録は「イメージ調整」の中のメモリーでおこないます。イメージ 1~10はPC入力と、AV入力で共用となっています。どちらの入力で使うのか、画質を登録される時決めておいてください。



イメージ調整

画質を細かく調整します。また、各種映像補正機能の操作をします。調整項目は コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、画質、カラーマネージメント、自動画質補正、色温度、赤、緑、青、ガンマ、ノイズリダクション、プログレッシブ、フィルム、リセット、メモリーがあります。

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「イメージ調整」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。イメージ調整メニューが表示されます。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整項目を選択（黄色にライトアップさせます）し、SELECTボタンを押します。更にメニューが表示される項目は必要調整項目を選択し、SELECTボタンを押します。選択した項目はSELECTボタンを押さないとは有効となりません。

コントラスト

ポイントボタンもしくはコントロールパッドでコントラストレベルを調整します。

明るさ

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで画面の明るさを調整します。

色の濃さ

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで色の濃さを調整します。

色合い

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで色合いを調整します。

色の濃さ、色合い調整はPC入力信号では出ません。
PAL,SECAM,PAL-M,PAL-Nでは、色合いは調整できません。

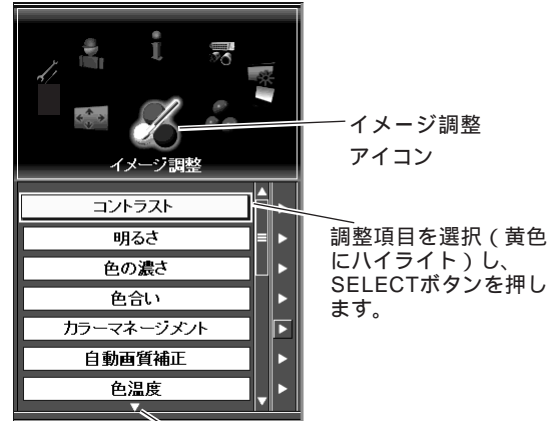
カラーマネージメント

カラーマネージメントは、投映画面の任意の点をサンプリングし、このサンプリング点のカラーレベル、位相、ガンマを好みの画質に調整し、これを画面全体に反映させ好みの映像に調整する事が出来ます。

1. ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「カラーマネージメント」を選択し、SELECTボタンを押します。ポインターが画面に現れます。
2. ポイントボタンもしくはコントロールパッドで、ポインターを画面の調整したいカラー部分に動かし、SELECTボタンを押します。画面が静止画面となり、カラー選択画面が出ます。
3. ポイントボタンもしくはコントロールパッドでカラーのレベル(LEVEL)と位相(PHASE)を選択し、SELECTボタンを押します。調整のポインター（黄色にハイライト）がGAMMA調整に移ります。
4. ポイントボタンもしくはコントロールパッドでガンマレベルを調整し、SELECTボタンを押します。

カラーのレベル(LEVEL)と位相(PHASE)、また、ガンマの調整中は、調整内容が投映画面に反映されます。

イメージ調整メニュー



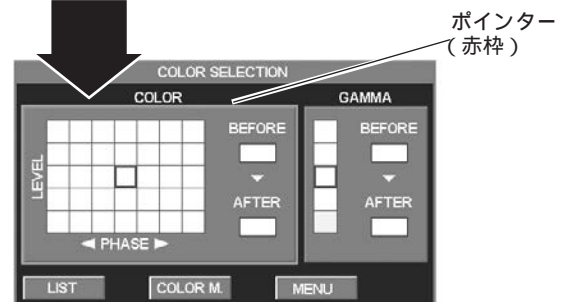
さらにメニューがあることを示します。



ポインター



カラーマネージメントポインター
ポイントボタンもしくはコントロールパッドでポインターを画面の調整したいカラーの部分に移動し、SELECTボタンを押します。カラー選択画面が出ます。



画面の各ボタンは以下の動作をします。ポイントボタンもしくはコントロールパッドでボタンを選択し、SELECTボタンを押します。

LISTカラーマネージメントリストが現れ、調整した内容がリストされます。

COLOR. M....手順 1 . に戻り、ポインターが画面に現れます。

MENU.....確認画面が出ます。“はい”を選択するとメニュー画面に戻ります。

カラーマネージメントリスト

カラー選択画面でLISTボタンを押すと、カラー選択画面の調整内容が登録されます。

この中には8つの調整内容を登録することが出来ます。

この中の各ボタンは、以下のはたらきをします。

ALL DEL.....リストされた全ての調整データが削除されます。

COLOR. M....手順 1 . に戻り、ポインターが画面に現れます。

MENU.....確認画面が出ます。はいを選択するとメニュー画面に戻ります。

この中にリストされた調整内容（チェックマークが付いたもの）が画面に反映されます。画面に反映したくない項目は、ポイントボタンもしくはコントロールパッドでリストの番号の後を選択し、SELECTボタンを押し、チェックマークを外します。もう一度SELECTボタンを押すとチェックマークがつきます。

リストのDELの項目に選択ポインター（黄色にハイライト）を持っていき、DELボタンを押すと、その調整項目が削除されます。

カラーマネージメントから抜けるにはCANCELボタンを押します。

カラーマネージメントで調整された内容はプロジェクターの電源スイッチを切ると全て消えます。

内容を保存したいときは、50ページのメモリーでイメージモードに登録しておきます。

自動画質補正

この機能を使うと、画面の黒部が強調され、黒部をより鮮明に投射することが出来ます。

オフ -- 機能がオフとなります。

L1----- 黒部が強調されます。

L2----- L1より、より黒部が強調されます。

色温度

画面の色温度の選択をします。

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで、超低、低、中、高の中から調整します。

赤、緑、青

各カラーのレベルを調整し、スクリーンを適切な白画面にします。

赤、緑、青の何れかを調整すると、色温度メニューに“調整中”と表示されます。

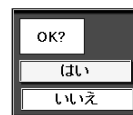
画質

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで、画質をお好みに合わせ、シャープまたはソフトに調整します。

カラーマネージメントリスト



ポインターで調整リストを選択し、SELECTボタンを押します。確認の画面が出ます。



“はい”を押すと、メニュー画面に戻ります。

適用したくない調整項目は、このチェックマークを外します。



選択位置表示ポイント



選択位置表示ポイント

イメージ調整

ガンマ補正

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで映像階調の中間部がバランスのとれたコントラストになるよう調整します。

ノイズリダクション

画面のノイズを押さえる働きをします。
オフ---- 機能がオフとなります。
L1----- 動画に効果的にはたります。
L2----- 静止画に効果的にはたります。

プログレッシブ

この機能をオンにすると、インターレースビデオ信号を順次走査で放映します。

プログレッシブ、フィルム、ノイズリダクションはPC信号入力では選択できません。

480p, 575p, 720pの信号では、プログレッシブは選択できません。

フィルム

2-3、2-2プルダウンフィルム映像を、よりオリジナルフィルム映像に近い映像品質で放映します。

この機能は、PAL, NTSC, 480i, 575iの映像信号で、プログレッシブがオンのときはたります。

2-3プルダウンフィルム映像とは、劇場のフィルム映像、1秒間24コマを、テレビ映像、1秒間30コマの映像に変換したビデオ信号のことです。

メモリー

イメージ調整で調整した内容をイメージモード一覧に登録しておくことができます。

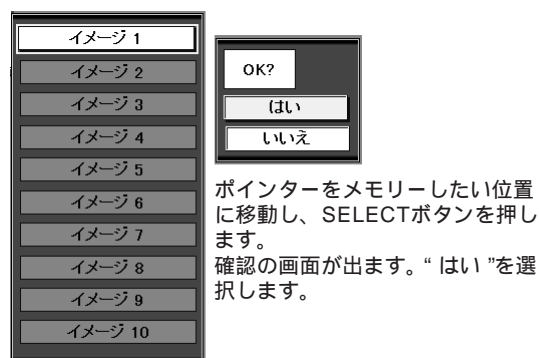
登録した内容はメニューの「イメージ」で選択する事が出来ます。登録する場所（イメージ1～10）を選択し、SELECTボタンを押します。

リセット

調整を行った内容をキャンセルし、調整前の値にもどします。

戻る

イメージ調整から出ます。



ポインターをメモリーしたい位置に移動し、SELECTボタンを押します。確認の画面が出ます。“はい”を選択します。

スクリーン設定



スクリーン設定

スクリーンサイズの選択、手動によるスクリーンサイズ・位置の調整、デジタルズームの操作、キーストーンの調整、天吊り、リア（背面）投映の設定を行います。

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「スクリーン設定」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。スクリーン設定メニューが表示されます。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで各調整項目を選択し、スクリーンの設定をします。

スクリーン

画面サイズの選択をします。

ノーマル

有効投映画面に合わせ、スクリーン画面一杯に投映します。

ワイド

横16：縦9のワイド画面で投映します。

リアル

映像をオリジナルサイズで投映します。画面サイズがプロジェクターの有効投映画面サイズより大きい場合はパンニング操作ができます。

フルスクリーン

画面横幅一杯に投映します。5：4のSXGA信号は4：3で投映されます。

カスタム（アスペクト）

スクリーンの垂直、水平スケールと、位置調整をします。カスタムを選択しSELECTボタンを押すと、画面にカスタムと4秒間表示され、カスタムが選択されたスクリーン選択画面が出ます。カスタムを選択しSELECTボタンを押すとアスペクト設定画面が出ます。

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで各調整項目を選択し、SELECTボタンを押すと調整画面が出ます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで調整し、SELECTボタンを押して調整を決定します。各項目は以下の各調整をします。

スケール----- 水平、垂直のサイズを調整します。

H&V----- チェックマークを入れると、スケールの水平調整で、画面の水平、垂直が、チェックマークを入れる前の垂直、水平比率を保って変化します。

ポジション---- 水平、垂直の位置を調整します。

共通----- カスタム調整は、各入力毎(INPUT 1～5)に設定出来ませんが、この共通を選択すると調整内容全ての入力に適用され、今迄各入力毎に設定されていた調整はここでの調整にリセットされます。

リセット----- 全ての調整を0にリセットされます。

戻る----- メニューから抜け出します。

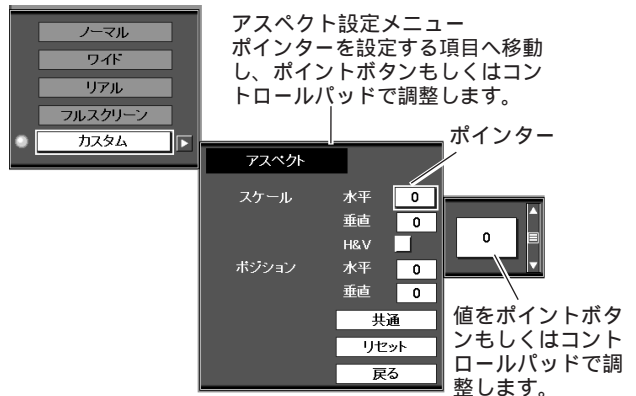
ご注意：

カスタムで調整した内容はプロジェクターの電源を切っても記憶されています。

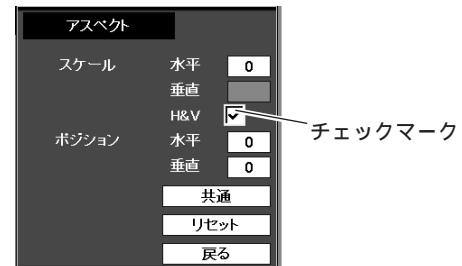
スクリーン設定メニュー



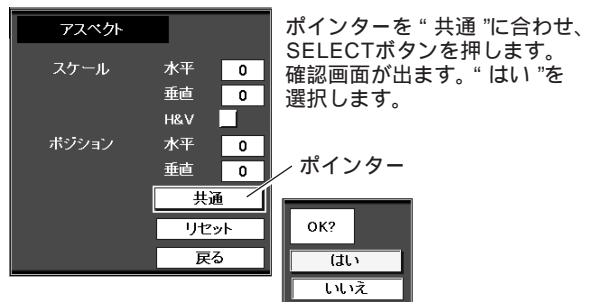
スクリーン（カスタム）



スクリーン（カスタムH&V）



スクリーン（カスタム：共通）



デジタルズーム

デジタル機能で、画面を拡大、また、縮小できます。

デジタルズーム+（画面の拡大）

メニューから「デジタルズーム」の「デジタルズーム+」を選択します。デジタルズーム+が表示されます。SELECTボタンを押すごとに画面が拡大します。拡大画面で、ポイントボタンもしくはコントロールパッドを操作すると、画面のパンニングが行えます。

デジタルズーム-（画面の縮小）

メニューから「デジタルズーム」の「デジタルズーム-」を選択します。デジタルズーム-が表示されます。SELECTボタンを押すごとに画面が縮小します。

ご注意：

デジタルズームの解除

デジタルズームの解除は、操作パネル、または、リモコンのINPUTボタンを操作するかメニューのスクリーンでサイズを変更すると解除されます。

キーストーン

画面の台形歪みを調整する

メニューから「キーストーン」を選択し、SELECTボタンを押します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで台形歪みを調整します。

調整内容の記憶とリセット

調整内容の記憶、またはリセットは、以下の操作で行います。

1. メニューの「キーストーン」をポイントボタンもしくはコントロールパッドで選択します。(メニューのキーストーンを黄色にハイライトさせます。)
2. ポイントボタンもしくはコントロールパッドの右方向を触りキーストーンのサブメニューを出します。コントロールパッドで操作項目を選択し、SELECTボタンを押します。

メモリー---- 調整内容は電源コードを抜いても記憶されています。

リセット---- 調整を行った内容をキャンセルし、調整前の値にもどします。

天吊り

メニューの「天吊り」を選択し、SELECTボタンを押します。オンを選択すると、画面の上下、左右が反転します。この機能は、プロジェクターを天井などから吊り下げて設置する場合などのとき使用します。

リア投映

メニューの「リア投映」を選択し、SELECTボタンを押します。オンを選択すると、画面の左右が反転します。この機能は、スクリーンの背面から投映するときなどのとき使用します。

ご注意：

スクリーンのリアルモードの選択、デジタルズームモードの操作は、480i, 575i, 480p, 575pのビデオ信号では出来ません
このプロジェクターは1600ドットX1200ドット以上の信号は投映できません。コンピュータの信号がこれ以上の解像度の場合、コンピュータの解像度を下げてください。
コンピュータ信号がXGA(LP-XF60A)、SXGA(LP-EF60A)以外の場合、初期設定では画面サイズに合わせ投映されます。
パンニング操作は、プロジェクターのPC調整を行うと正しく動作しない場合があります。

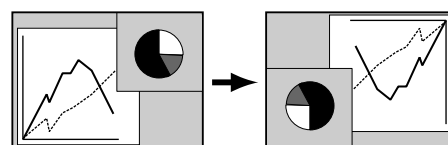
デジタルズーム



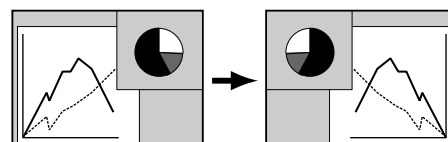
キーストーン



天吊り



リア投映





設定

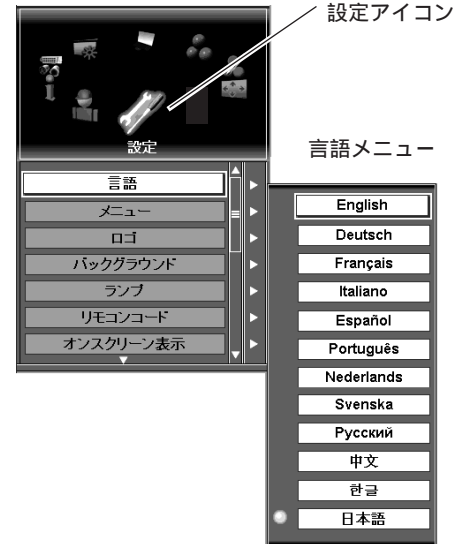
プロジェクターの各種の動作環境の設定をします。メニューの言語、メニュー、ロゴ、バックグラウンド、ランプ、リモコンコード、オンスクリーン表示、インプット検索、パワーマネジメント、オンスタート、アナログ出力設定、レンズメモリー、シャッター、セキュリティー、初期設定

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「設定」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。設定メニューが表示されます。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで各調整項目を選択し、各項目の設定をします。

言語

メニューが日本語を含む、12言語の言語から選択できます。

設定メニュー（言語）



メニュー

メニューの表示のさせかたの設定をします。

ポジション

メニューの表示位置の選択が出来ます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで位置を選択し、SELECTボタンで決定します。

マイメニュー

メニューの表示項目を好みの内容に設定出来ます。各メニュー項目をポイントボタンもしくはコントロールパッドとSELECTボタンで選択し。各メニュー項目のチェックマークを調整します。チェックマークを外すとその項目はメニューに表示されません。

シンプルメニュー

オン----- イメージ調整の中の調整レベル画面が、画面の左下に表示されます。
オフ----- 標準のメニュー表示となります。

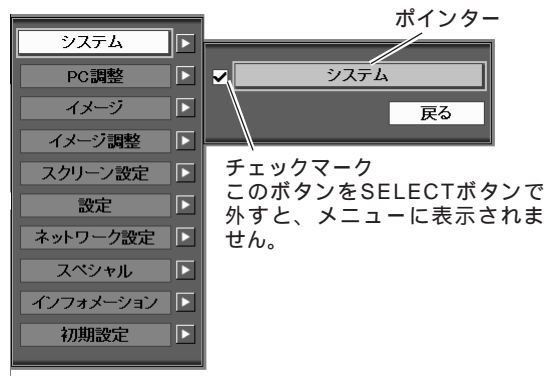
ご注意：

「インプット」と「設定」のメニューはマイメニューの設定で隠す事は出来ません。
初期設定を選択すると、全ての項目がオンスクリーンメニューに表示されます。

メニューポジション



マイメニュー



ロゴ

プロジェクターのスタートアップ画面に表示されるロゴ表示の設定をします。

ロゴ選択

スタート画面に出てくるロゴの設定をします。
 初期設定-----工場出荷設定のロゴ表示となります。
 マイロゴ-----キャプチャーで取得した画面を表示します。
 オフ----- カウントダウンタイム表示のみとなります。

キャプチャー

プロジェクターで投射している画面をスタートアップ画面に、また、プレゼン中断中に投射することができます。キャプチャーする画面を投射し、ロゴメニューの中のキャプチャーを選択し、画面を取得します。ロゴ選択（上記）で“マイロゴ”を選択すると、スタートアップ画面にキャプチャー映像が現れます。

ご注意：

画面キャプチャーは、イメージ選択を標準でおこなってください。コンピュータ信号がキャプチャーできるのはXGA(1024X768)までです。SXGAはキャプチャーできません。
 キーストーンで調整された画面をキャプチャーすると、キーストーン調整は一時的に解除され、キーストーン補正されない画面がキャプチャーされます。
 ロゴが、ロック機能でロックされているとき、再びロゴメニューに入るには、ロゴ暗証番号を入力する必要があります。

ロック

この機能は、使用者、または管理者以外の者によるロゴの設定を防止する機能です。
 オフ----- ロゴの設定が自由に出来ます。
 オン----- 暗証番号無しでのロゴ変更は出来ません。

ロックの設定を変えるには、以下の手順で暗証番号を入力してください。工場出荷時、暗証番号は“4321”に設定されています。

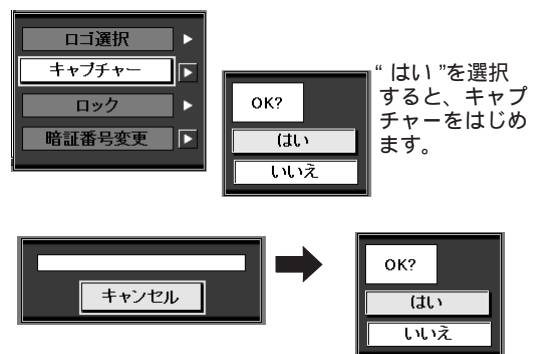
暗証番号の入力

番号をポイントボタンもしくはコントロールパッドで選択し、SELECTボタンを押します。番号が*に変わります。もし番号を間違えたら“C”を選択し、再度番号を入力します。この手順を繰り返し、4桁の番号を入れます。
 4桁の番号が揃ったところで、Entを選択しSELECTボタンを押すと、ロゴのロック設定を変更することが出来ます。
 間違った暗証番号を選択すると表示が消えます。

ロゴ選択



キャプチャー



“はい”を選択すると、キャプチャーを中止します。

ロゴロック設定



暗証番号の入力



暗証番号の変更

ロゴの暗証番号は任意の4桁の番号に変更できます。
暗証番号変更を選択し、SELECTボタンを押します。暗証番号入力画面で新しい番号を入力します。

ご注意：

暗証番号は必ずメモをとり保管ください。取扱説明書85ページに記載があります。ここに記載のうえ、説明書と共に大切に保管ください。暗証番号を忘れたり、失ったりすると二度とロゴの暗証番号変更は出来なくなります。本機能に関連する“PJロック”の項もご参照ください。

バックグラウンド

バックグラウンドに3つの形式が選択できます。入力信号が無信号になったとき、設定したこれらがバックグラウンドに表示されます。

ブルー----ブルーのバックグラウンドになります。
マイロゴ---キャプチャー機能で取得した画像が表示されます。
ブラック---バックグラウンドが黒となります。

ランプ

ランプの点灯方法を選択します。

制御

ランプの明るさを選択出来ます。

ノーマル----ノーマルな明るさ。

オート-----信号内容にしたがい明るさを調整します。

エコ-----明るさを抑さえ、消費電力も低減します。

モード

このプロジェクターは2つのランプを備えています。設定で1つのランプでの投射、2つのランプでの投射に切り替えられます。

2灯----2つのランプで投射します。

1灯----1つのランプで投射します。

ご注意：

2つのランプが故障などで点灯しないときは、電源は自動的に切れます。
1つのランプで運転中ランプが故障等で点灯しないときは、LAMP 1(またはLAMP 2) REPLACEのインジケータが橙で点滅し、ランプは他方のランプに切り替えられて点灯します。

リモコンコード

他のAV機器からのリモコン干渉や、他の無線機器からの無線干渉によるリモコンの動作障害を避けるため、リモコンは4つの無線チャンネルと、8つのIDを持ち、これらを切り替えて使うことができます。無線チャンネルやIDを変更する場合、リモコンとプロジェクターの両方を同じ設定にする必要があります。

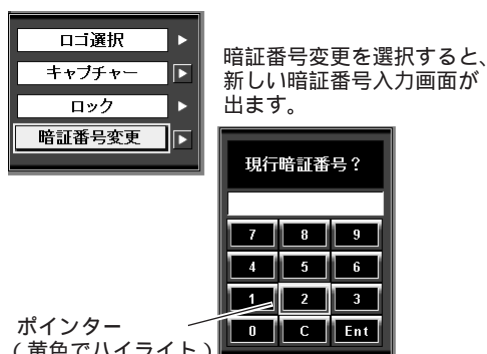
プロジェクターの設定

リモコンコードメニューのCH, IDをそれぞれ選択し、設定するCH, IDを選択します。

リモコンの設定

設定する項目のリモコンボタン(CHまたはID)を押し下げ、保持します。SELECTボタンを押すごとに順次CH、またはIDが変わります。詳しくは20ページ“リモコンの周波数(CH)およびコード(ID)の設定”をご参照ください。

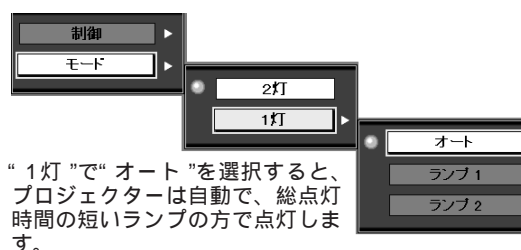
暗証番号変更画面



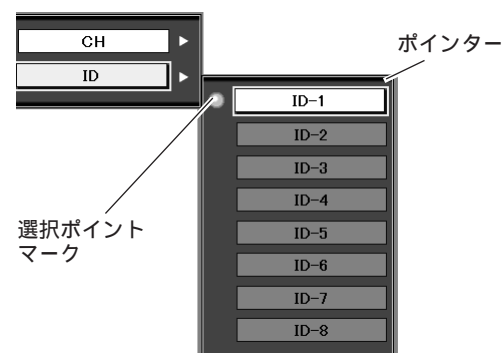
ランプ制御



ランプモード



リモコンコード



リモコンコードでSELECTボタンを押すと、リモートコントロールCHとIDの選択メニューがそれぞれ出ます。それぞれのメニューでこれらを設定します。

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示の設定をします。

オン---全てのオンスクリーン表示を出します。

オフ---以下の項目のみを表示します。

オンスクリーンメニュー

電源を切るときの“もう一度押すと電源が切れます”の表示

P-TIMERの表示

入力信号なしの表示

しばらくお待ち下さいの表示

検索中の表示

インプット検索

この項目をオンにしておくと、プロジェクターは電源オン時に自動的にインプット 1からインプット 5までを自動検索し、信号のある入力で停止します。

ご注意：

入力信号が、プロジェクターが最後に選択した信号の種類と異なる場合、適正な状態では映りません。

パワーマネージメント

消費電力の低減と、ランプ寿命消費低減のため、プロジェクターの信号が中断し、30秒間プロジェクターが操作されなかった場合、入力信号なしの表示とタイマー表示が現れカウントダウンをはじめます。カウント時間が完了すると、プロジェクターはランプを消灯し、冷却をはじめます。ランプを消灯するまでのカウント時間、パワーマネージメントの動作選択をメニューの中でおこないます。

待機----- プロジェクターの冷却が完了すると、READYインジケータが緑色で点滅をはじめます。このときプロジェクターに信号が入ったり、またプロジェクターが操作されると、プロジェクターのランプが点灯します。

シャットダウン--- プロジェクターのランプ冷却が完了すると、プロジェクターの電源が切れます。

オフ----- パワーマネージメント機能がオフとなります。

オンスタート

この機能をオンにしておくと、プロジェクターの電源コードをACコンセントに差し込むとプロジェクターの電源が入ります。

ご注意：

主電源スイッチを入りにしておく必要があります。

プロジェクターの電源を正しい手順で切っておく必要があります。正しい手順で切らないとオンスタート機能は正しくはたらかしません。

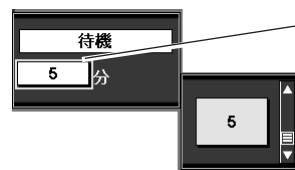
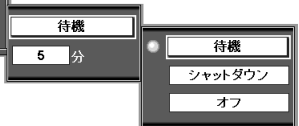
パワーマネージメント



ランプ消灯までの時間



パワーマネージメントでSELECTボタンを押すとパワーマネージメントの設定画面が出ます。



タイマーセット
ポイントボタンもしくはコントロールパッドでタイマーを選択し(黄色にハイライト)、SELECTボタンを押すとタイマー設定画面が出ます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで時間を入力します。

アナログ出力

ANALOG OUT端子はINPUT 1のANALOG IN端子に入力される信号を出力します。ここでは信号を出すか出さないかの設定をします。16ページ参照。

オンを選択すると信号が出力され、オフにすると信号が出力されなくなります。

アナログ出力はインプット1以外を選択すると出力されません。

レンズメモリー

各入力で調整した、レンズシフト、フォーカス、ズーム調整位置を記憶しておくことができます。インプットを選択したとき、そのインプットに記憶された内容で、レンズシフト、フォーカス、ズームを自動調整します。

オフ----- 手で調整した位置のままです。

メモリー--- レンズシフト、ズーム、フォーカスが各インプットのメモリー内容にしたがい、各入力選択にしたがい自動調整されます。

ご注意：

レンズメモリー機能は、メモリー機能を持ったレンズへのみ有効です。レンズについての詳しくは販売店にお尋ねください。

レンズメモリー機能によるレンズ調整調整は、調整の100%を保証するものではありません。細かい調整は手動でおこなってください。

シャッター

本機は機械的なシャッターを搭載しており、このシャッターにより、投映光を完全に遮断することができます。またこのシャッターはレンズシャッターのはたらきもしており、ハイコントラストモードを設定することにより、画面のコントラストを強調するはたらきもします。

ここではシャッターの動作設定をします。

レベル

シャッターの動作レベルを設定します。

ノーマル----シャッターオン時 100%遮蔽

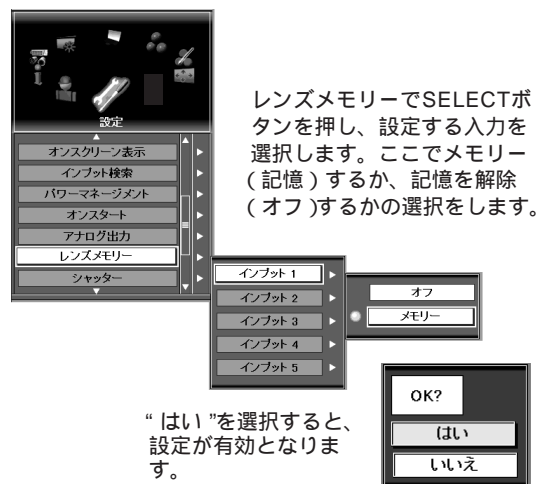
ハイコントラスト----シャッターオン時 画面のコントラストを強調

保護

操作パネル、またはリモコンでのシャッター操作を停止させます。リモコン----- オンを選択すると、リモコンでのシャッター操作ができなくなります。

プロジェクター----オンを選択すると、操作パネルでのシャッター操作ができなくなります。

レンズメモリー



シャッターレベル



シャッター保護



メニューのシャッターでSELECTボタンを押すとシャッター設定メニューが現れます。希望する保護項目を選択し設定します。

設定

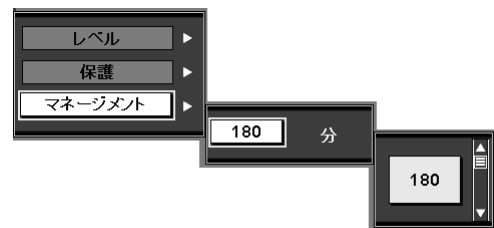
マネージメント(シャッター)

プロジェクターを点灯したままでシャッターを閉じると、ある一定時間経過すると、シャッターのマネージメントがはたらき、プロジェクターはシャッターを開き、ランプを消灯します。この後、プロジェクターは冷却動作にうつり、冷却が完了するとプロジェクターの電源が切れREADYインジケータが点灯します。マネージメントがはたらくと、SHUTTERインジケータは青色で点滅します。点滅後はプロジェクターの電源が切れ、READYインジケータが点灯した後もこの点滅を続けます。プロジェクターの電源を再び入れると点滅は消えます。マネージメントメニューではシャッターを閉じた後シャッターマネージメントがはたらくまでの時間(シャッターが開き、ランプが切れる)の設定をします。

ご注意:

シャッターで投映画面が遮断されているときは、パワーマネージメントは動作しません。

シャッターマネージメント



マネージメントを選択し、時間を5～180分の間で設定します。

セキュリティ

キーロック

この機能は、プロジェクターの操作ボタン、リモコンの操作をロックする機能です。プロジェクターの使用者、または管理者以外による操作を防ぐ為のものです。

プロジェクター----- プロジェクターの操作パネルのボタンをロックします。ロックの解除はリモコンでおこないます。

リモコン----- リモコンの操作をロックします。ロックの解除は、プロジェクターの操作パネルでおこないます。

万一、プロジェクターの操作パネルをロックし、近くにリモコンがなかった場合、つぎの手順でプロジェクターのロックを解除できます。

電源コードをACコンセントから一旦抜きます。
プロジェクター本体のSELECTボタンを押しながら、電源コードをACコンセントに差し込みます。
(プロジェクターのロックが解除されます。)

キーロック



USBロック

この機能は、USBキーを持つ、プロジェクターの使用者、または管理者以外による操作を防ぐ為のものです。プロジェクターの鍵かけ機能です。

設定----- ロックの設定をします。(On1, On2, オフ)

登録----- キーに使うUSBキーをプロジェクターへ登録します。USBキーは2本登録出来ます。最初のキーは、プロジェクターの電源が入っている状態でUSBキーをプロジェクターのUSB端子へ差し込むだけで登録出来ます。

削除----- USBキーの登録を削除します。

USBロックをご使用になるには別売専用のUSBキーが必要です。市販一般のUSBメモリーキー等使用での動作は保障いたしておりません。

USBロック



ご注意:

USBキーロックはUSBキーをプロジェクターへ接続しないと選択できません。USBロックと、PJロックは同時に使用できません。
USBキーロックの詳細は別売USBキーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

PJロック

この機能は、暗証番号を使ってプロジェクターに鍵をかけ、プロジェクターの使用者、または管理者以外による操作を防ぐ為のものです。

設定によって鍵かけ内容を選択する事が出来ます。

On 1----- 電源を入れるごとに暗証番号が必要となります。

On 2----- 一度電源コードを抜いて電源スイッチを入れるとき、暗証番号が必要です。電源コードを接続したままでプロジェクターの電源を入り切りするときは暗証番号は必要ありません。

オフ----- プロジェクターの鍵かけが解除されます。

暗証番号を変えるときは、暗証番号（4桁）の入力が必要となります。工場出荷時、暗証番号は“ 1234 ”でセットされています。

暗証番号の入力

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで番号を選択し、SELECTボタンを押します。番号が*で表示されます。もし番号を誤ったときは、一度“C”にポインターを持って行くとクリアされます。

操作を繰り返し4桁の暗証番号を入れ、ポインターを“Ent”位置にし、SELECTボタンを押します。PJロックの設定を変えることができます。

もし誤った番号を入れたときは表示が消えます。はじめから番号を入れ直してください。

PJロックの設定変更

ポイントボタンもしくはコントロールパッドで、On 1, On 2, オフを選択し、SELECTボタンを押します。

暗証番号の変更

暗証番号は任意の4桁の番号に変更できます。暗証番号変更を選択し、SELECTボタンを押します。暗証番号入力画面が現れます。現在の暗証番号を入力します。新しい暗証番号入力画面になります。以下の手順で新しい暗証番号を入力します。

ポイントボタンもしくはコントロールパッドとSELECTボタンで新しい4桁の暗証番号を入れます。ポイントボタンもしくはコントロールパッドで、ポインターを“Ent”に合わせ、SELECTボタンを押します。

ご注意：

暗証番号を変えられたときは必ずメモをとり保管ください。説明書85ページに記載があります。暗証番号を忘れてたり、失ったりすると、二度とPJロックの操作ができなくなったり、またプロジェクターを操作することができなくなります。

PJロック



プロジェクターが暗証番号でロックされると、PJロックマークがメニュー左上に現れます。

暗証番号の入力

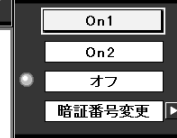


番号は*で表示されます。



ポインター

PJロックの設定変更



希望の項目を選択し、SELECTボタンを押します。

暗証番号の変更



暗証番号変更を選択し、SELECTボタンを押します。暗証番号入力画面が現れます。

設定表示ポイント。



ポインター

初期設定

以下の項目を除き、プロジェクターの設定を工場出荷設定にもどします。

工場出荷設定にもどされない項目：

- マイロゴ
- PJ暗証番号
- ロゴ暗証番号
- セキュリティーの設定
- ランプ時間
- フィルター時間

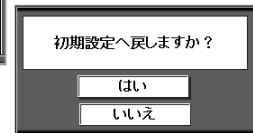
戻る

メニューから抜け出ます。

初期設定



初期設定を選択すると、確認画面が出ます。“はい”を選択すると、実行されます。





スペシャル

プロジェクターの保守に関わる色々な設定をします。
ランプ、ファン制御、フィルタ、自動PC調整、テストパターン、RS-232C、USBメモリー、及び警告履歴。

- 1 MENU ボタンを押してメニューを出し、ポイントボタンもしくはコントロールパッドでスペシャルアイコンを選択し SELECT ボタンを押します。
- 2 ポイントボタンもしくはコントロールパッドで設定したい項目を選択し、SELECT ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が現れます。

ランプ

ランプ使用時間をリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプ使用時間をリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(橙)の点灯が消えます。

ポイントボタンもしくはコントロールパッドでポインターを交換したランプのリセットに合わせ、SELECT ボタンを押します。

「ランプ使用時間リセット?」が現れますので、ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「はい」にポインターを合わせ、SELECT ボタンを押します。ランプ使用時間がリセットされます。



注意

光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

ファン制御

プロジェクター及びオプションボックスの冷却ファンのスピードの設定を行います。

- ノーマル...通常ファンのスピード
- マックス...通常より高速のファンのスピード

ノーマルを選ぶと通常の動作で、マックスを選ぶと冷却効果が増します。



注意

プロジェクター及びオプションボックスのファンスピードを個別には変更できません。

フィルター

プロジェクター及びオプションボックスのフィルターの使用時間が表示されます。

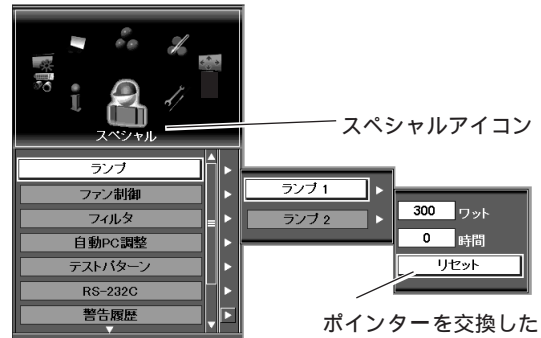
ポイントボタンもしくはコントロールパッドでリセットにポインターを合わせ、SELECT ボタンを押すと確認の画面が現れます。「はい」にポインターを合わせ、SELECT ボタンを押します。フィルターの使用時間がリセットされます。



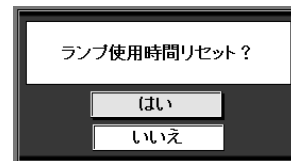
注意

フィルターを交換したとき以外はリセットしないでください。

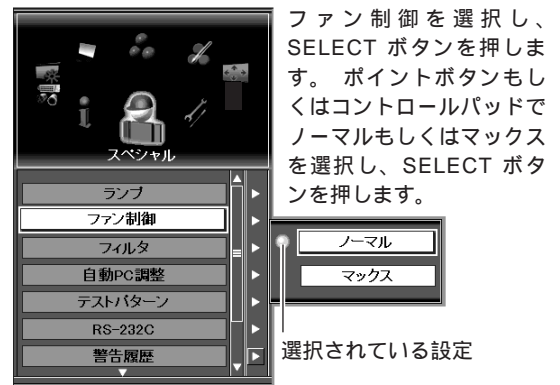
スペシャルメニュー (ランプ)



ポインターを交換したランプのリセットに合わせ SELECT ボタンを押すと「ランプ使用時間リセット?」の表示が現れます。「はい」にポインターを合わせ、SELECT ボタンを押します。



ファン制御



ファン制御を選択し、SELECT ボタンを押します。ポイントボタンもしくはコントロールパッドでノーマルもしくはマックスを選択し、SELECT ボタンを押します。

フィルター



ポインターをリセットに合わせ SELECT ボタンを押します。

「はい」にポインターを合わせ、SELECT ボタンを押します。

自動PC調整

オンを選択すると自動PC調整機能が有効になります。
オフを選択すると自動PC調整機能が無効になります。

テストパターン

このプロジェクターには投映を試すために各種のテストパターンが用意されています。以下の20種類から一つ選んでください。

格子1 (白) 格子2 (赤) 格子3 (緑) 格子4 (青) 格子5 (マゼンダ) 格子6 (シアン) 格子7 (黄) 16階調1-4、カラーバー、フラット1-8。
テストパターンを解除する時は、CANCELボタンを押してください。

RS-232C

この機能は、RS-232Cシリアル通信の環境設定をおこないます。
 ボーレート9600/19200
 プロジェクターID.....001 - 999
 初期設定ボーレート及びプロジェクターIDを工場出荷状態に戻します。
 ボーレート ; 19200
 プロジェクターID ; 001

USB メモリー

この機能はPCモードやイメージ調整のデータを別売のUSBキーをプロジェクターに接続する事によって、USBキーに保存及び読出しが可能です。
 USBキーはPCモード及びイメージ調整のデータ各10ブロックの記憶領域を持っています。
 各1ブロックにはPCモードでは1-50まで、イメージ調整データはイメージ1-10までまとめて記憶されます。

保存..... プロジェクターのデータをUSBキーに保存させます。
 読出し..... 保存データをUSBキーより読出します。
 削除..... 保存データを削除します。

USBメモリー機能を使う場合は、別売のUSBキーが必要です。77ページの別売品を参照のうえ販売店にご相談ください。
 USBメモリー機能のくわしくは、別売のUSBキーの取り扱い説明書をお読みください。



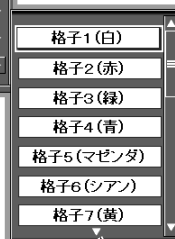
注意

USBメモリー機能は別売のUSBキーが無いと動作しません。USBメモリーメニューはUSBキーをプロジェクターに接続させないと、表示されません。

テストパターン

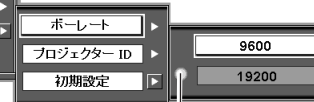


テストパターンボックスより投映させたいテストパターンをポイントボタンもしくはコントロールパッドで選択しSELECTボタンを押します。



この下に他の項目のテストパターンがあります。

RS-232C



選択されている設定

USBメモリー



ポインタをあわせSELECTボタンを押すとUSBメモリーメニューが現れます。



次のページにつづく

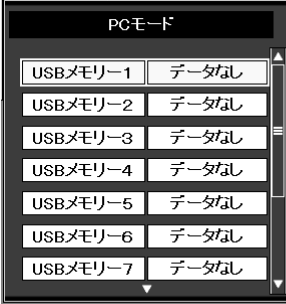
警告履歴

プロジェクターの警告履歴が50件まで順を追って表示されます。警告履歴の内容は以下の様に表示されます。

- ランプ1不灯
- ランプ2不灯
- ランプ1交換
- ランプ2交換
- 電源異常
- 内部温度 A 異常
- 内部温度 B 異常
- 内部温度 C 異常
- 外部温度異常
- 電源オフ (パワーマネージメント)
- 電源オフ (シャッターマネージメント)
- PJ フィルター交換
- オプションボックスフィルター交換
- オプションボックス異常

戻る


メニューから抜け出ます。



USBメモリーメニュー
ポインターで、メモリー
する空き場所 (データなし)
を選択し、SELECT
ボタンを押します。確認
画面が出ます。

“はい”を選択すると、メモリーが実行されます。

警告経歴



メニューに戻ります。



インフォメーション

プロジェクターの現在の動作状況を表示します。
画面がうまく投射できない、また、プロジェクターの運転状況を確認したい、
などのとき使用します。

- 1 メニューボタンを押し、メニューを出します。
ポイントボタンもしくはコントロールパッドで「インフォメーション」アイコンを選択しSELECTボタンを押します。
- 2 インフォメーション画面が表示されます。
インフォメーション画面は、操作パネル、または、リモコンのINFO. ボタンでも表示できます。

インフォメーション



インプット	インプット 1
	RGB (PC アナログ)
システム	VGA 1
信号	あり
スクリーン	ノーマル
言語	日本語
ランプモード	2灯
ランプ状態	ランプ 1 正常
	ランプ 2 正常
パワーマネージメント	オフ
シャッターマネージメント	オン 180分
スモークレジスト	あり
オプションフィルタ使用時間	0時間
セキュリティー	キーロック オフ
	PJロック オフ
	USBロック オフ
リモコンコード	CH-1 ID-1
Option Control No. 06	戻る

保守とお手入れ

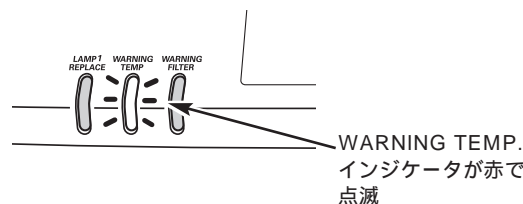
WARNING TEMP.インジケータ（内部温度管理）

WARNING TEMP.インジケータはプロジェクター内部の温度状況を表示します。またこのインジケータは、他のインジケータと共にプロジェクターの保守管理のはたらきをします。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP.インジケータが赤で点滅しているとき

プロジェクターの内部温度が通常動作温度より高くなると、WARNING TEMP.インジケータが赤でゆっくりと点滅をはじめ、内部温度が高くなっていることをお知らせします。プロジェクターの内部温度が更に高くなると、WARNING TEMP.インジケータの点滅が早くなり、プロジェクターの電源が自動的に切れます。WARNING TEMP.インジケータは点滅のままで、READYインジケータが消灯し、プロジェクターは冷却動作にうつります。冷却が完了し、プロジェクターの内部温度が正常に戻るとするとREADYインジケータが「緑」で点灯します。WARNING TEMP.インジケータは点滅を続けたままです。このとき、プロジェクターの電源を再び入れることができます。プロジェクターの電源が入ると、WARNING TEMP.インジケータの点滅は消えます。プロジェクターの電源を再び入れた後、なおかつWARNING TEMP.インジケータが赤で点滅を続けていれば、以下の事をご確認ください。

操作パネル



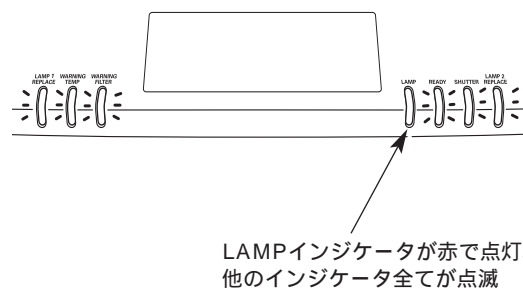
- ・プロジェクター周辺に、適切な換気と冷却のための空間を設けていますか。
- ・プロジェクターを空調の給排気口付近に設けていませんか。
- ・フィルターはきれいですか？、フィルター周辺は定期的に点検と、掃除をおこなってください。
65ページエアフィルター交換の項参照。

これらを点検し、なおそれでも点滅が止まらないときは、冷却ファンの故障、内部の故障が考えられます。販売店、またはサービス会社へご相談ください。

LAMPインジケータが赤く点灯し、他のインジケータランプ全てが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が自動で切れ、LAMPインジケータが赤く点灯、他のインジケータランプ全てが点滅します。この様なとき、一度プロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、もう一度電源コードをACコンセントに差し込み電源を入れ直し、動作の確認をおこなってください。もし、電源が再び切れる場合は、プロジェクターの電源コードを抜き、販売会社、またはサービス会社へ、プロジェクターの点検と修理をご依頼ください。

操作パネル



注意

プロジェクターがこの様な状態の場合、プロジェクターをACコンセントに差したままで放置しないでください。事故や火災の原因となります。

エアフィルターの交換

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。

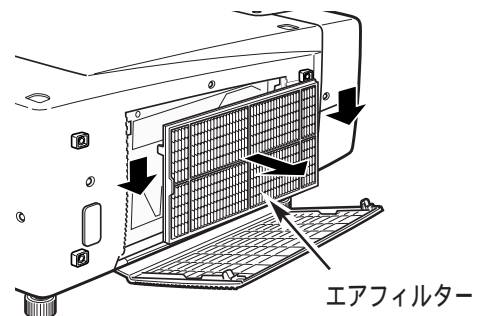
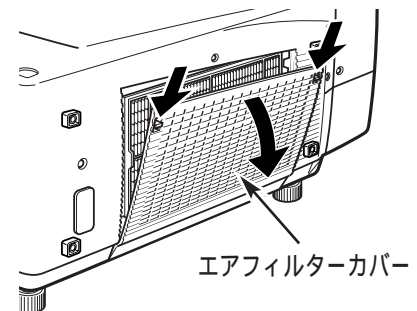
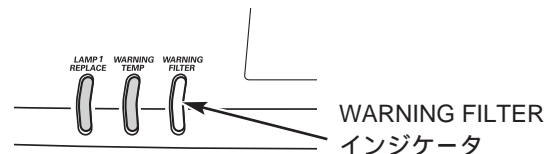
プロジェクターはフィルターの状態をモニターする機能を持っています。

フィルターが汚れフィルター機能が低下すると WARNING FILTER インジケータが点灯し、フィルターの交換が必要であることを知らせます。WARNING FILTER インジケータが点灯したら速やかにフィルターの交換を行ってください。WARNING FILTER インジケータが点灯したままで長期に使用すると、プロジェクターの内部温度が上昇し、プロジェクター内部の光学部品を破損する原因となります。また、内部温度が上がると保護装置によりプロジェクターの電源が自動的に切れる場合があります。フィルター交換後は必ずプロジェクターのメニュー操作（スペシャル、フィルター）の項でフィルター使用時間をリセットしてください。正しくリセットしないと、フィルターのモニター機能が正しく動作しません。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。フィルターの交換は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 フィルターカバー上部の爪を押しフィルターカバーを開けます。
- 3 エアフィルターを引き出します。（右図参照）
- 4 ブラシや掃除機でフィルター取り付け部周辺のホコリを取り除きます。
- 5 新しいフィルターを取り付け、フィルターカバーをしめます。

- ・取り替え用 エアフィルター の品番：610 315 1588
- ・プロジェクターの品番：LP-XF60A/LP-EF60A

トップインジケータ



お掃除の際にご注意ください

- ・このプロジェクターはエアフィルターを入れずに点灯させると、自動的に電源がきれる働きをします。
- ・エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

ランプの寿命が近づいたり、故障や寿命になると LAMP REPLACE インジケータ (橙) が点灯します。該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。LAMP REPLACE インジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」(入) のときに点灯します。

光源ランプの交換のしかた

ランプ交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP80 (サービス部品コード：610 315 7689)
- ・プロジェクターの品番：LP-XF60A/LP-EF60A

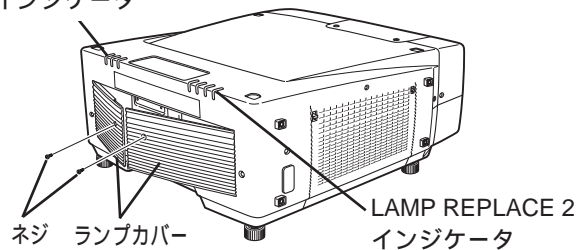


注意

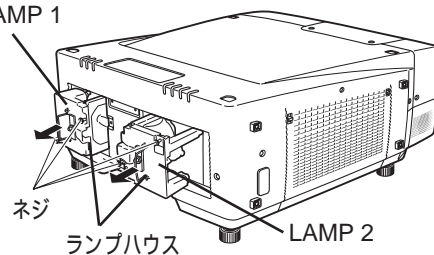
動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、1時間以上冷却してから行ってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず1時間以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで該当ランプのランプカバー取り付けネジを外し、ランプカバーを開けます。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉じ、ネジを締めて固定します。

LAMP REPLACE 1
インジケータ



LAMP 1



ガラス面およびランプ部分を手で触れないでください。

ランプは2個同時に交換することをおすすめします

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、2個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一部を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプ使用時間をリセットします

ランプ交換後は必ずランプ使用時間をリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(橙)の点灯が消えます。

「ランプ使用時間のリセット」のしかたは、61ページのランプ使用時間リセットの項目をご参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

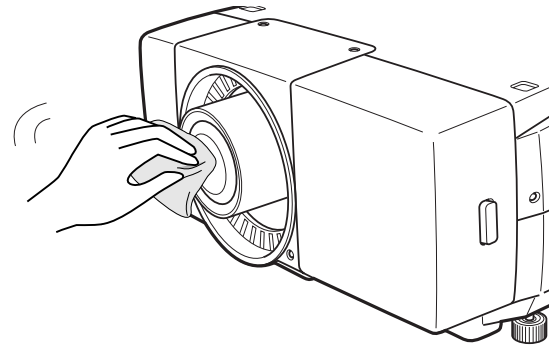
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

プロジェクターを掃除されるときは、電源コードを抜いておこなってください。

レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）でおこなってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、堅いものでこすったり、たたいたりしないでください。



プロジェクターをお使いにならないときは、レンズにレンズキャップを取り付けてください。

キャビネットのお手入れ

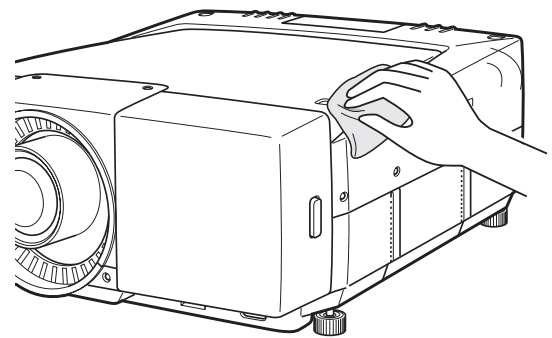
キャビネットや操作パネルの部分の汚れは、ネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

キャビネットをいためないために

キャビネットにはプラスチックが使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

ベンジン・シンナーは使わないで

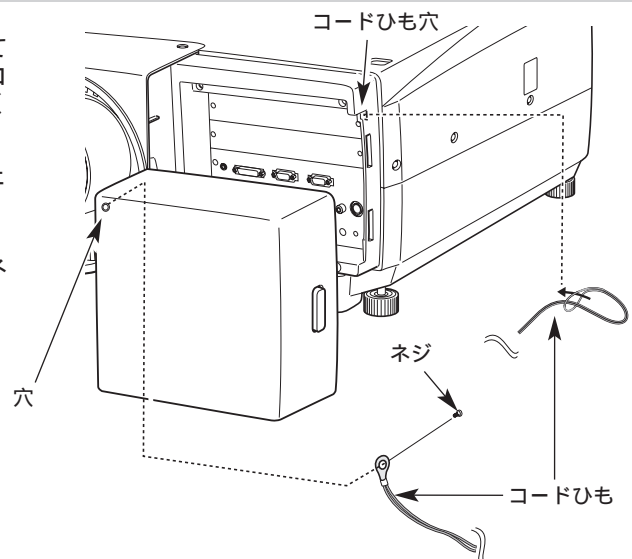
ベンジンやシンナーなどでふきますと、変質したり、塗装がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。



前面接続端子カバー落下防止ひもの取り付け

前面接続端子カバーの落下防止の為に、コードひもが添付されています。プロジェクターを高所に取り付けるときは、必ずこのコードひもでプロジェクターと、前面接続端子カバーをつないでください。

- 1 コードひも的一方をプロジェクターの穴を通して、プロジェクターに取り付けます。
- 2 コードひもの他方を、前面接続端子カバーの内側へ付属のネジで取り付けます。



インジケータ表示とプロジェクターの状態

WARNING TEMP インジケータ

インジケータ			プロジェクターの状態
READY 緑	WARNING TEMP 赤	LAMP 赤	
			主電源スイッチが OFFになっているか、電源コードがコンセントから抜けています。
			ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
			プロジェクターはスタンバイ状態です。電源ボタンを押すと動作します。
			プロジェクターは正常に動作しています。
			パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
			プロジェクターの内部温度が高くなると、WARNING TEMP. インジケータが点滅を始め、READY インジケータが消え、自動的に電源が切れます。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、下記枠内の状態となります。(WARNING TEMP. インジケータは点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。
			内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。電源ボタンを押すと、WARNING TEMP. インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
READY, WARNING TEMP, SHUTTER, WARNING FILTER, LAMP 1 REPLACE AND LAMP 2 REPLACE インジケータが同時に点滅する。			プロジェクターの内部に異常が検出されました。電源ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。

LED の状態



…消灯



…点灯


















…暗点灯












…点滅
















SHUTTER インジケータ

インジケータ			プロジェクターの状態
READY 緑	LAMP 赤	SHUTTER 青	
			シャッターが閉じています。(プロジェクターは動作中です。)
		 低速	シャッターマネージメントにて消灯しました。プロジェクターはスタンバイ状態です。電源ボタンを押すと動作します。
		 低速	シャッターマネージメントにて消灯しました。ランプの冷却中です。READYインジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
		 高速	シャッター動作に異常があります。(プロジェクターはスタンバイ状態。) お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
		 高速	シャッター動作に異常があります。(プロジェクターはランプの冷却中です。) お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

WARNING FILTER インジケータ

インジケータ			プロジェクターの状態
READY 緑	LAMP 赤	WARNING FILTER 橙	
		 低速	フィルターが汚れていますので速やかにフィルターの交換を行ってください。
			フィルターの交換時期ですので速やかにフィルターの交換を行ってください。
		 高速	フィルターが入っていないので確認ください。

LAMP REPLACE インジケータ

インジケータ			プロジェクターの状態
READY 緑	LAMP 赤	LAMP 1/2 REPLACE 橙	
		 低速	ランプ不灯。(ランプの冷却中です。READY インジケータが再度点灯した後、電源ボタンを押してください。)
		 低速	ランプ不灯。(再度電源ボタンを押してください。)
		 高速	ランプ1またはランプ2のどちらかが挿入されていません。
			ランプの寿命です。ランプを交換の後、ランプ使用時間をリセットしてください。ランプインジケータは消えます。
		両方  低速	ランプカバーが完全に閉じていません。 両方のインジケータが定期的に同時に3回点滅します。このときはプロジェクターは動作しません。

・・・LAMP 1 REPLACE インジケータ及びLAMP 2 REPLACE インジケータが点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯)すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプ使用時間をリセットしてください。(61ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<p>電源コードは接続されていますか。 主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。 ON-OFF ボタンを再度押してみてください。 READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。(14、31-32、69-71 ページ参照) WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 WARNING TEMP. インジケータ<赤>及びREADY インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。(69 ページ参照) ランプが切れていませんか。 エアフィルターが収納され、フィルターカバーが完全に閉まっていますか。</p>
画像が映らない	<p>コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(26-28 ページ参照) 電源を入れたあと約20秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(31ページ参照) レンズキャップをとりましたか。 コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(42-43 ページ参照) 使用温度範囲(5 ~ 35)からはずれていませんか。 コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 シャッターを働かせていませんか。</p>
画像が不鮮明	<p>フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(33ページ参照) スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 (別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」参照) スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(22ページ参照) 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなる場合があります。</p>
映像が左右(上下)逆さまに映っている	<p>スクリーン設定のリア投射や天吊り機能がオンになっていませんか。(52 ページ参照)</p>
電源を入れたら、暗証番号を要求された	<p>PJ ロックが設定されています。登録した(または工場出荷時の)暗証番号を入力してください。(31、59 ページ参照)</p>

こんなときは	ここを確認してください
本体操作パネルで操作できない	キーロックでプロジェクター本体からの操作をロックしていませんか。(58 ページ参照)
リモコンで操作できない	<p>電池は正しく入っていますか。+ - を正しく入れてください。(21ページ参照)</p> <p>電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(21ページ参照)</p> <p>電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(24ページ参照)</p> <p>本体の主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。主電源スイッチを入れてください。(24ページ参照)</p> <p>リモコンの操作距離 (10m) から、はずれていませんか。</p> <p>リモコンの周波数帯 (CH) 及びリモコンコード (ID) を切り替えていませんか。リモコンの周波数帯 (CH) 及びリモコンコード (ID) を確認してください。(20、55ページ参照)</p> <p>キーロックでリモコンからの操作をロックしていませんか。(58 ページ参照)</p> <p>リモコンのRESET/ON/ALL OFF スイッチがALL OFF側になっていませんか。ON側にして操作してください。(20 ページ参照)</p> <p>リモコン接続ケーブルがリモコンまたはプロジェクター本体の一方に差し込まれていませんか? ワイヤレスでご使用のとき、外してください。(18 ページ参照)</p>
インプット1のANALOG OUTから信号が出ない	アナログ出力設定がオフになっていませんか。(57 ページ参照)
シャッターが操作できない	シャッター保護機能がオンになっていませんか。(57 ページ参照)
一部のメニュー項目が表示されない	マイメニュー機能を確認してください。(53 ページ参照)
一部のオンスクリーン表示がでない	オンスクリーン表示機能がオフになっていませんか。(56 ページ参照)

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモードは含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
480p	————	31.47	59.88 (プログレッシブ)	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
575p	————	31.25	50.00 (プログレッシブ)	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
575i	————	15.625	50.00 (インターレース)	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
480i	————	15.734	60.00 (インターレース)	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 21	1400 x 1050	63.90	60.00
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00
XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)	UXGA 4	1600 x 1200	93.75	75.00
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	720p	————	45.00	60.00 (プログレッシブ)
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)	1080i/60	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20	1080i/50	————	28.125	50.00 (インターレース)
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30				

仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

SXGA, WXGA, UXGA, Mac21, 720p (HDTV), 1035i (HDTV), 1080i60 (HDTV), 1080i50 (HDTV) の信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ドットクロックが 230MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA1	1280 x 1024	63.98	60.02
D-480p	720 x 480	31.47	59.88 (プログレッシブ)	D-SXGA2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-575p	768 x 575	31.25	50.00 (プログレッシブ)	D-UXGA	1600 x 1200	75.00	60.00
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-720p	1280 x 720	45.00	60.00 (プログレッシブ)
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1035i	1920 x 1035	33.75	60.00 (インターレース)
D-WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00	D-1080i/60	1920 x 1080	33.75	60.00 (インターレース)
D-WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00	D-1080i/50	1920 x 1080	28.125	50.00 (インターレース)
D-WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00				

仕 様

プロジェクター本体

品番	LP-XF60A/LP-EF60A
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：1.4型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：2,359,296 画素 { 786,432 (横1,024 x 縦 768) x3 } LP-XF60A 4,410,000 画素 { 1,470,000 (横1,400 x 縦1,050) x3 } LP-EF60A
投射レンズ	別売
光源ランプ	300W ランプ x 2灯
ズーム/フォーカス調整	電動式ズーム・フォーカス（オプションレンズによって異なります。）
入力端子 インプット1	DVI: DVI-D 端子 x 1 (HDCP対応) デジタルTMDS (Transition Minimized Differential Signaling) ミニD-sub 15 端子 x 2 (入力/出力) アナログRGB信号: 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75
インプット2	BNC 端子 x 5 (G/VIDEO/Y, B/Cb/Pb, R/Cr/Pr, H/V, V) アナログRGB信号: 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75 水平・垂直同期: TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期: 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75) VIDEO/Y 信号: 1Vp-p、同期負、インピーダンス75 Cb/Pb 信号: 0.7Vp-p、インピーダンス75 Cr/Pr 信号: 0.7Vp-p、インピーダンス75
インプット3	ピンジャック x 3 (VIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr) VIDEO/Y 信号: 1Vp-p、同期負、インピーダンス75 Cb/Pb 信号: 0.7Vp-p、インピーダンス75 Cr/Pr 信号: 0.7Vp-p、インピーダンス75 S映像 信号: セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y: 1Vp-p、同期負、インピーダンス75 C: 0.286Vp-p (パースト信号)、インピーダンス75
制御入出力、他	USB端子 (2系統): USBコネクター、シリーズ A x 1、シリーズ B x 1 シリアルポート (入力1系統/出力1系統): D-sub 9ピン x 2 ワイヤードリモコン端子: ミニジャック
走査周波数	水平 15 ~ 120KHz、垂直 48 ~ 120Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	900W (待機中消費電力 13W)
本体寸法	幅 518 x 高さ 252 x 奥行 606 mm
質量	24.7 Kg

HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことで、HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像 のDVI端子での再生はできなくなる場合があります。

液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。放映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V 単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約10m
本体寸法	幅50×高さ30×奥行181mm
質量	150g (電池を含む)

付属品

リモコン 1個、
 リモコン用 アルカリ乾電池 (単3形) 2本、
 電源コード 1本、
 コンピュータ接続ケーブル 1本 (D-Sub用)、
 CD ROM 1種 (Real Color Manager Pro.)
 取扱説明書(本説明書と、ソフト説明書1冊)、レンズ交換・取付作業手順書、保証書、
 遮光プレート 2種、
 レンズ取付金具 1個、
 前面端子カバー落下防止用コードひも 1本、
 セキュリティラベル 1枚

別売品

SCART-VGA 変換ケーブル 品番 : POA-CA-SCART
 USB キー 品番 : POA-USB01
 スモークレジスタントボックス 品番 : POA-SR-140
 フィルター (スモークレジスタントボックス) 品番 : POA-FIL-140
 リモコンケーブル (30m) 品番 : POA-CA-RC30
 別売インターフェイスボード
 Advanced Network ボード 品番 : POA-MD19NET
 Dual SDI ボード 品番 : POA-MD17SDID
 ビデオボード (Faroudja) 品番 : POA-MD09VD3
 Warp & Blending ボード 品番 : POA-MD21WARP
 DVI ボード (HDCP 対応) 品番 : POA-MD18DVI
 ミニ D-sub ボード 品番 : POA-MD04VGA
 5 BNC ボード 品番 : POA-MD16VD1

レンズ交換について

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。

レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

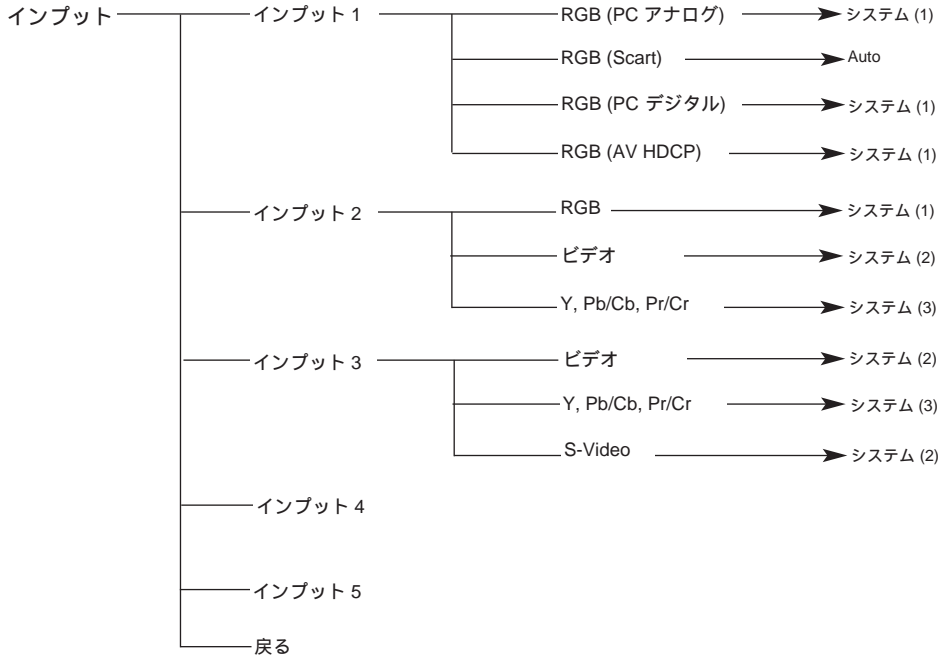
販売技術員・サービス技術員の方へ

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行なってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

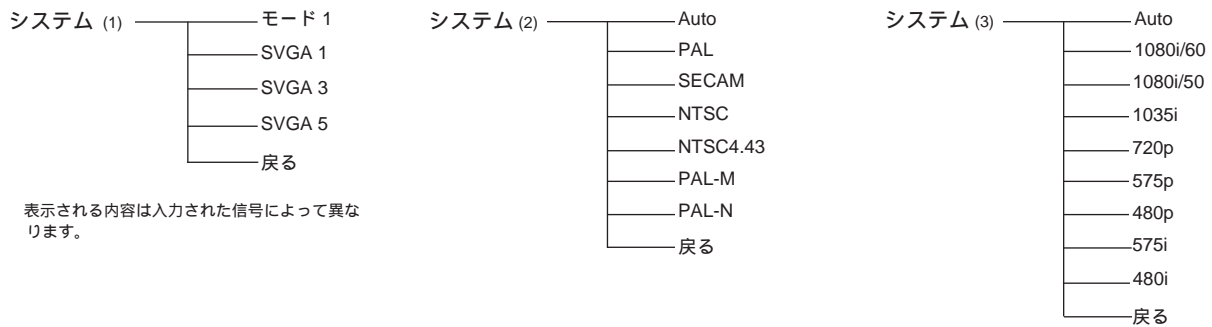
このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

メニュー内容一覧

インプット



システム

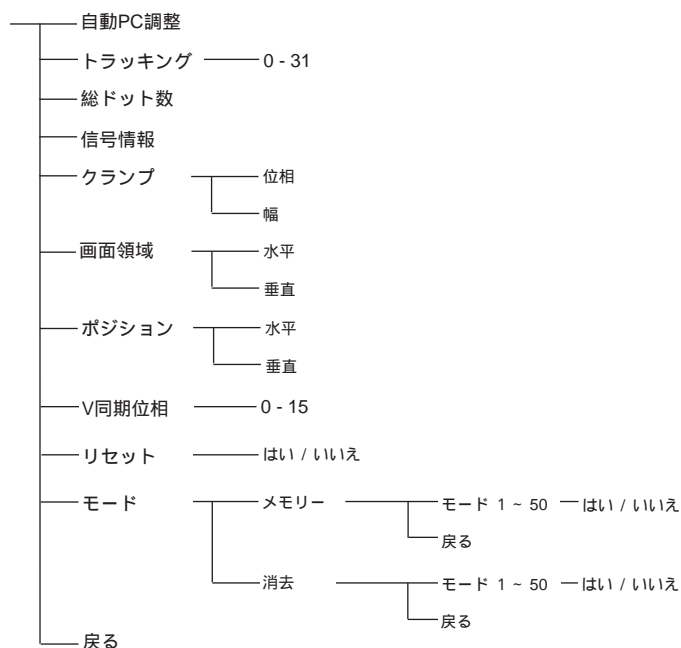


表示される内容は入力された信号によって異なります。

PC調整



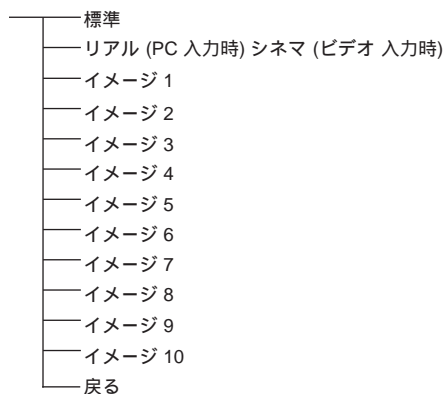
PC調整



イメージ



イメージ



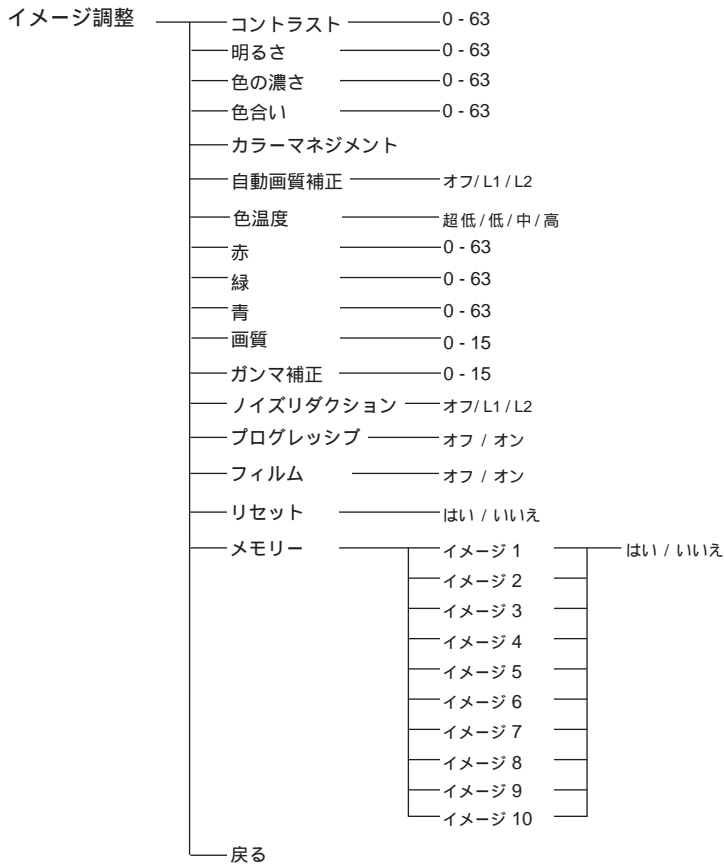
インフォメーション



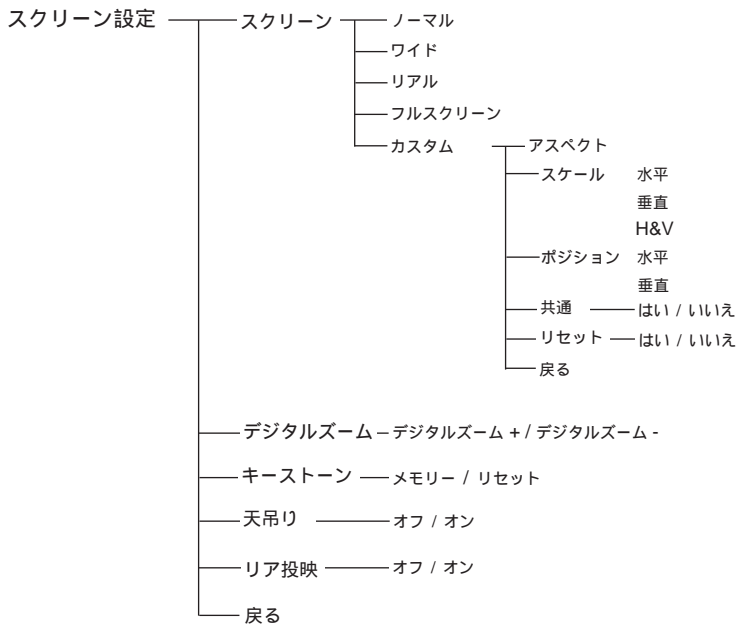
インフォメーション



イメージ調整



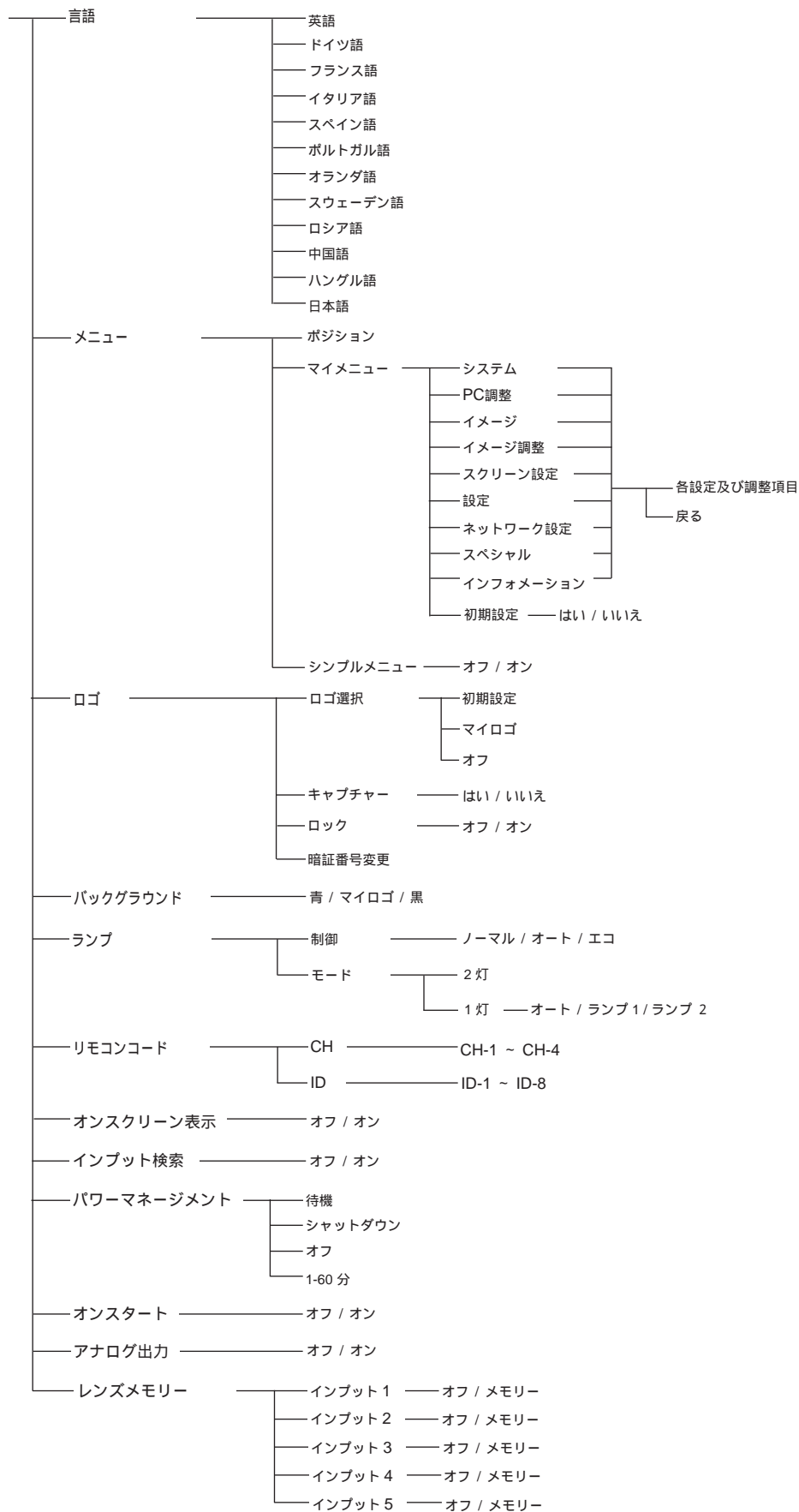
スクリーン設定



設定



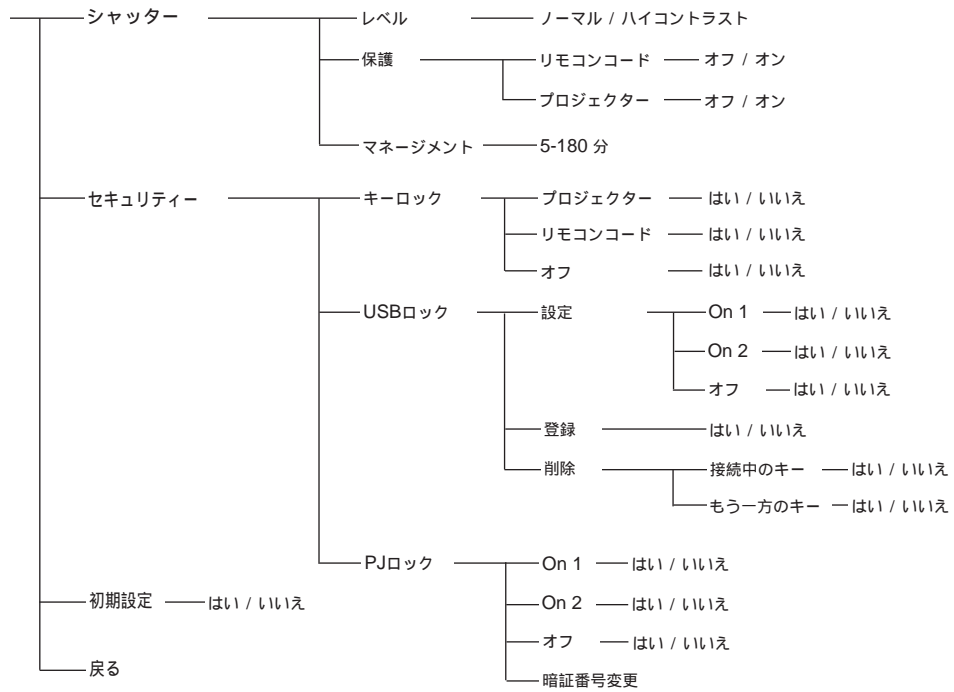
設定



設定



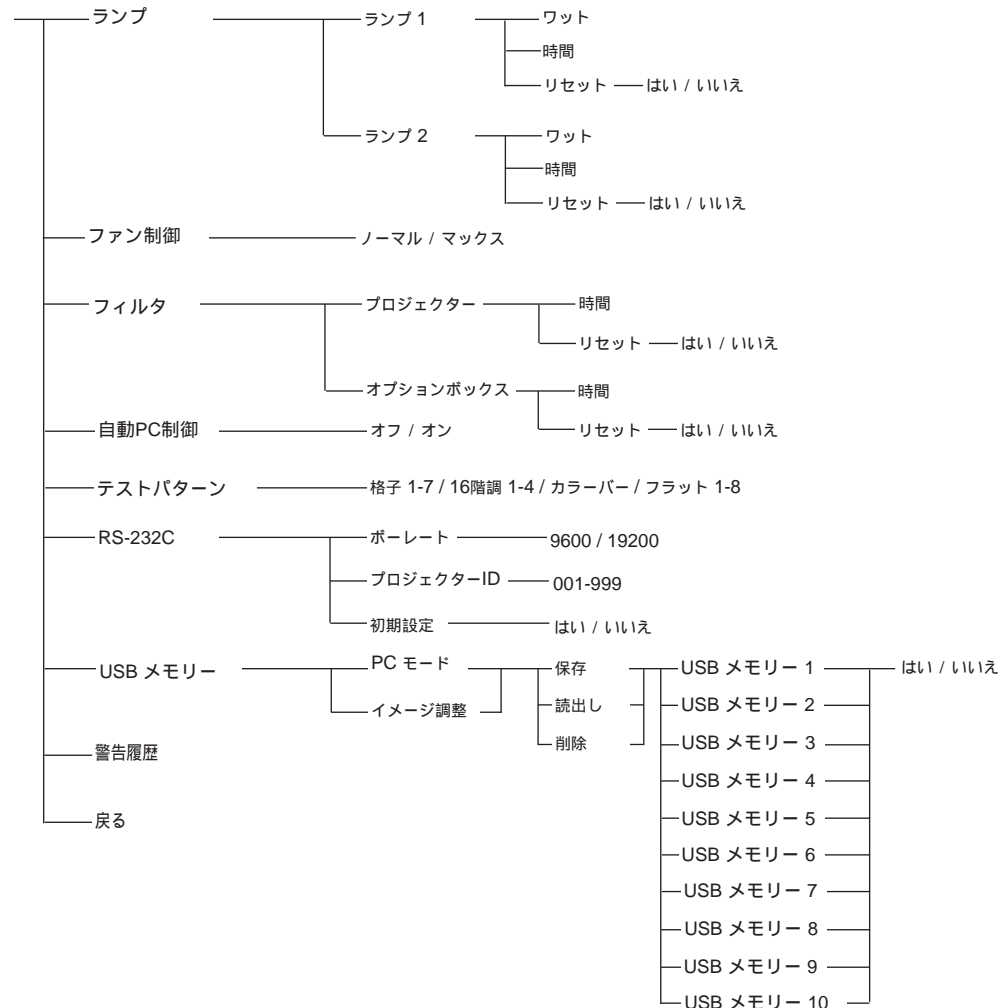
設定



スペシャル

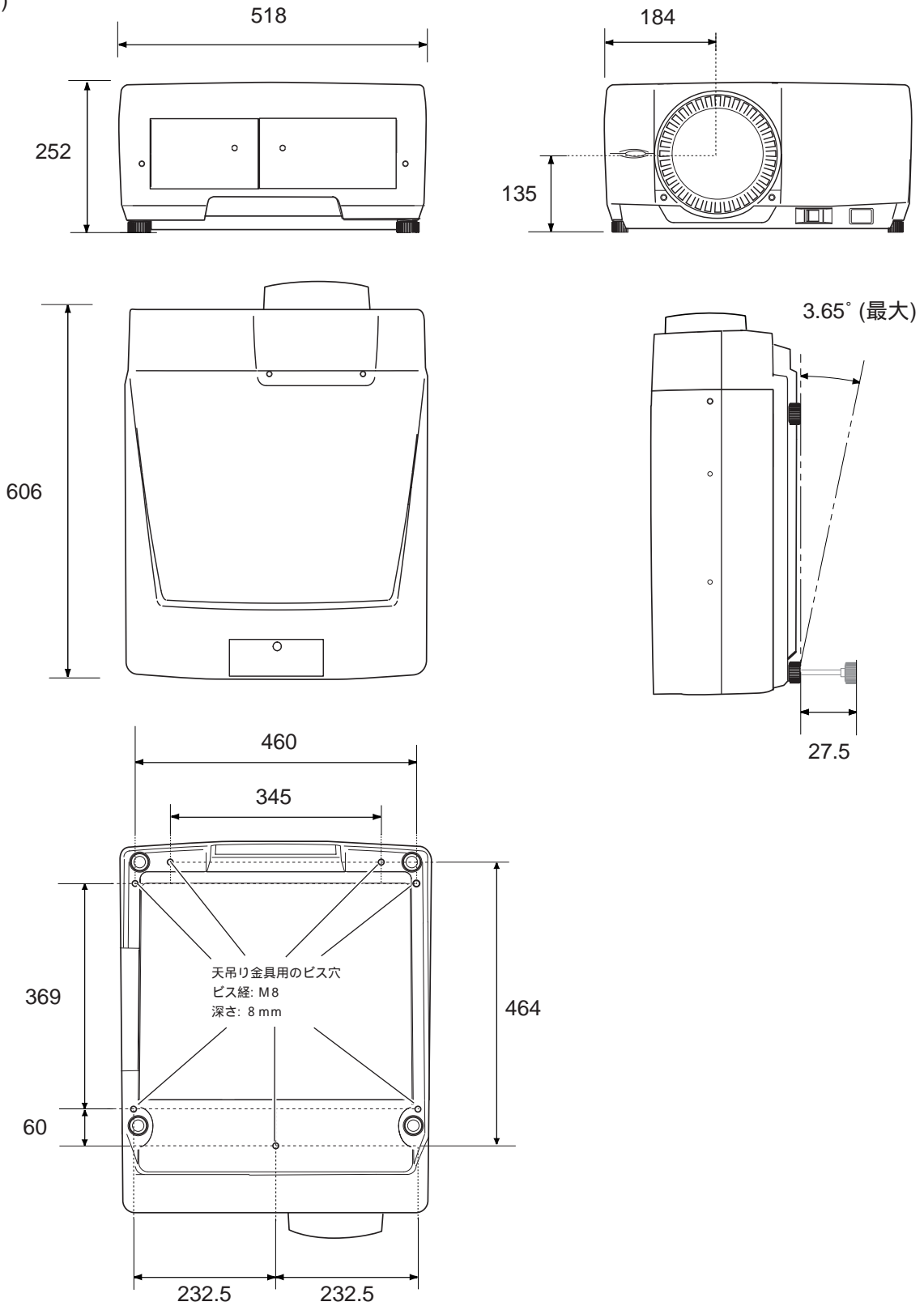


スペシャル



寸法

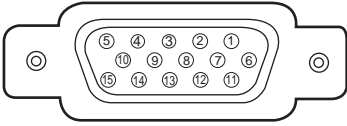
単位 (mm)



端子の仕様

インプット 1 (アナログ インプット/アウトプット) 端子

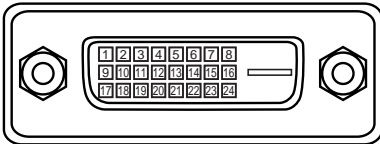
ミニ D-sub 15ピン



1	R (R/Cr) 入出力	9	未接続
2	G (G/Y) 入出力	10	接地 (垂直同期)
3	B (B/Cb) 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期 入出力 (コボジット: 水平垂直同期)
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

インプット 1 (デジタルインプット DVI-D) 端子

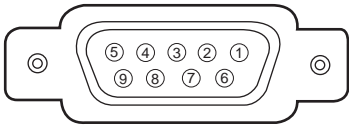
DVI-D 24ピン



1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2/4シールド	11	T.M.D.S. データ 1/3シールド	19	T.M.D.S. データ 0/5シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT (シリアルポート入出力端子)

D-sub 9ピン



1	—	6	—
2	R x D	7	—
3	T x D	8	—
4	—	9	—
5	GND		

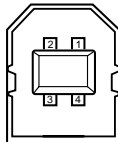
USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB コネクタ (シリーズ A)



1	Vcc
2	- Data
3	+ Data
4	Ground

USB コネクタ (シリーズ B)



1	Vcc
2	- Data
3	+ Data
4	Ground

暗証番号がわからなくなったとき

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号： 1 2 3 4*

ロゴ暗証番号ロック の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号： 4 3 2 1*

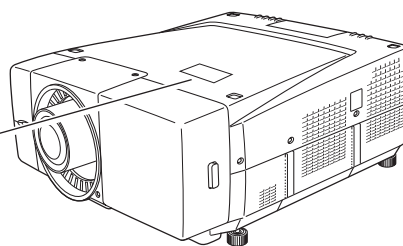
*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し暗証番号を有効にしているとき、またはUSBキーでプロジェクターをロックしているときは付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



セキュリティーラベル



保証とアフターサービス

この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼される前に

72ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

修理を依頼されるときに


ご連絡いただきたいこと

お客さまのお名前
ご住所、お電話番号
商品の品番
故障の内容(できるだけ詳しく)

補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検		長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ!	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような症状はありませんか	電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 映像が時々消えることがある。 変なおいがしたり、煙が出たりする。 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 内部に水や異物が入った。 その他異常や故障がある。	ご使用中 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ	
品番	LP-XF60A/LP-EF60A
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVカンパニー
プロジェクタービジネスユニット 販売推進部
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1